

まんのう町後期基本計画
住民アンケート
集計結果報告書

平成24年9月
まんのう町

目 次

第1編 調査方法.....	3
第1章 調査の目的	3
第2章 調査の区分	3
第3章 集計結果の見方	3
第2編 調査の結果.....	4
第1章 属性	4
第2章 町全体に関わる満足度について	7
第3章 まちづくりの方向について	16
第4章 産業振興について	19
第5章 健康について	20
第6章 情報通信について	22
第7章 地域活動について	26
第8章 少子化対策について	28
第9章 教育について	30
第10章 生活環境について	34
第11章 防災について	36
第12章 町政について	39
第3編 自由意見.....	44
第4編 調査票.....	48

第 1 編 調査方法

第 1 章 調査の目的

本調査は、まんのう町の18歳以上の住民を対象に、町の現状をどのようにとらえ、将来どのような町になることを希望し、どのような暮らしを望んでいるか、具体的にどのようにまちづくりを進めていくべきかなどを把握し、後期総合計画（平成25～29年度）の策定にむけた基礎資料とするために実施しました。

第 2 章 調査の区分

本調査は、平成24年7月に実施しました。調査方法、回収数などは以下のとおりです。

調査方法	18歳以上の住民を、住民基本台帳から無作為抽出し、郵送により配布・回収。
配布数	1,500票
回収数	672票
回収率	44.8%

第 3 章 集計結果の見方

- 設問には1つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの設問では、構成比の合計は100%を超えます。
- 構成比は選択肢ごとに小数第1位を四捨五入しているため、その構成比の合計は100%にならないところがあります。
- グラフは、「その他」の選択肢や「無回答」などの表記を省略しているところがあります。

第2編 調査の結果

第1章 属性

問1 性別（1つに○）

問2 年齢（1つに○）

	男		女		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10～39歳	44	14%	82	24%	0	0%	126	19%
40～59歳	91	28%	82	24%	0	0%	173	26%
60歳以上	188	58%	175	52%	6	60%	369	55%
無回答	0	0%	0	0%	4	40%	4	1%
合計	323	100%	339	100%	10	100%	672	100%

回答者全体の性別・年齢の内訳については、表の通りです。年齢は「60歳以上」が半数超となっており、男女比はほぼ半々となっています。

問3 居住地（地区名でお答え下さい）（1つに○）

(再区分)	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
旧琴南町	12	10%	16	9%	56	15%	0	0%	84	13%
旧満濃町	90	71%	107	62%	225	61%	0	0%	422	63%
旧仲南町	22	18%	48	28%	87	24%	0	0%	157	23%
無回答	2	2%	2	1%	1	0%	4	100%	9	1%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

回答者全体の居住地について、合併前の旧町で再区分すると、「旧満濃町」が63%と半分以上を占めています。続いて「旧仲南町」が23%、「旧琴南町」が13%となっています。

問4 居住歴（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
町で生まれて、ずっと住んでいる	48	38%	68	39%	179	49%	0	0%	295	44%
いったん町を出て、帰ってきた	31	25%	44	25%	71	19%	0	0%	146	22%
町外（県内）の生まれである	33	26%	50	29%	95	26%	0	0%	178	27%
県外の生まれである	14	11%	10	6%	23	6%	0	0%	47	7%
無回答	0	0%	1	1%	1	0%	4	100%	6	1%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

居住歴



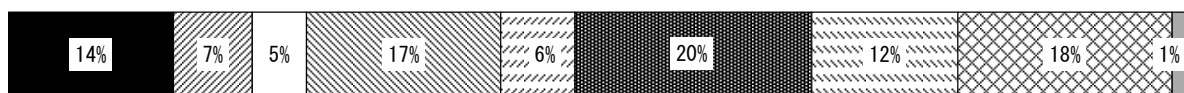
☒ 町で生まれて、ずっと住んでいる
 ☒ いったん町を出て、帰ってきた
 ☐ 町外（県内）の生まれである
☐ 県外の生まれである
 ☐ 無回答

回答者全体の居住歴について、「町で生まれて、ずっと住んでいる」が44%で最も割合が高く、続いて、「町外（県内）の生まれである」27%、「いったん町を出て帰ってきた」22%、「県外の生まれである」7%となっています。

問5 職業（産業分野）（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林業	0	0%	10	6%	84	23%	0	0%	94	14%
製造業	10	8%	25	15%	10	3%	0	0%	45	7%
建設業	4	3%	10	6%	17	5%	0	0%	31	5%
商業・サービス業	34	27%	44	25%	33	9%	0	0%	111	17%
公務員等	8	6%	26	15%	8	2%	0	0%	42	6%
家事（主婦など）	16	13%	16	9%	103	28%	0	0%	135	20%
無職・学生	17	14%	4	2%	62	17%	0	0%	83	12%
その他	37	29%	37	21%	48	13%	0	0%	122	18%
無回答	0	0%	1	1%	4	1%	4	100%	9	1%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

職業（産業分野）



■農林業 □製造業 □建設業 □商業・サービス業 □公務員等 ■家事（主婦など） □無職・学生 □その他 □無回答

回答者全体の職業の産業分野は、「家事（主婦など）」20%、「商業・サービス業」17%、「農林業」14%、「無職・学生」12%、「製造業」7%、「公務員等」6%、「建設業」5%となっています。

問6 主な就業地・生活地（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
町内	48	38%	76	44%	278	75%	0	0%	402	60%
高松市	12	10%	18	10%	10	3%	0	0%	40	6%
丸亀市	20	16%	24	14%	12	3%	0	0%	56	8%
善通寺市	7	6%	5	3%	6	2%	0	0%	18	3%
琴平町	3	2%	10	6%	8	2%	0	0%	21	3%
その他	34	27%	37	21%	29	8%	0	0%	100	15%
無回答	2	2%	3	2%	26	7%	4	100%	35	5%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

主な就業地・生活地

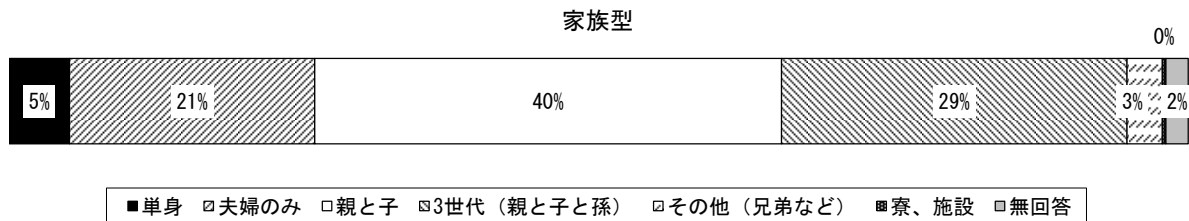


■町内 □高松市 □丸亀市 □善通寺市 □琴平町 ■その他 □無回答

回答者全体の主な就業地・生活地をみると、「町内」が60%で最も割合が高く、「丸亀市」8%、「高松市」6%、「善通寺市」3%、「琴平町」3%と続いています。

問7 家族型（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
単身	2	2%	4	2%	28	8%	0	0%	34	5%
夫婦のみ	9	7%	14	8%	117	32%	0	0%	140	21%
親と子	71	56%	77	45%	118	32%	0	0%	266	40%
3世代（親と子と孫）	37	29%	64	37%	96	26%	0	0%	197	29%
その他（兄弟など）	5	4%	12	7%	3	1%	0	0%	20	3%
寮、施設	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%	2	0%
無回答	2	2%	2	1%	5	1%	4	100%	13	2%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



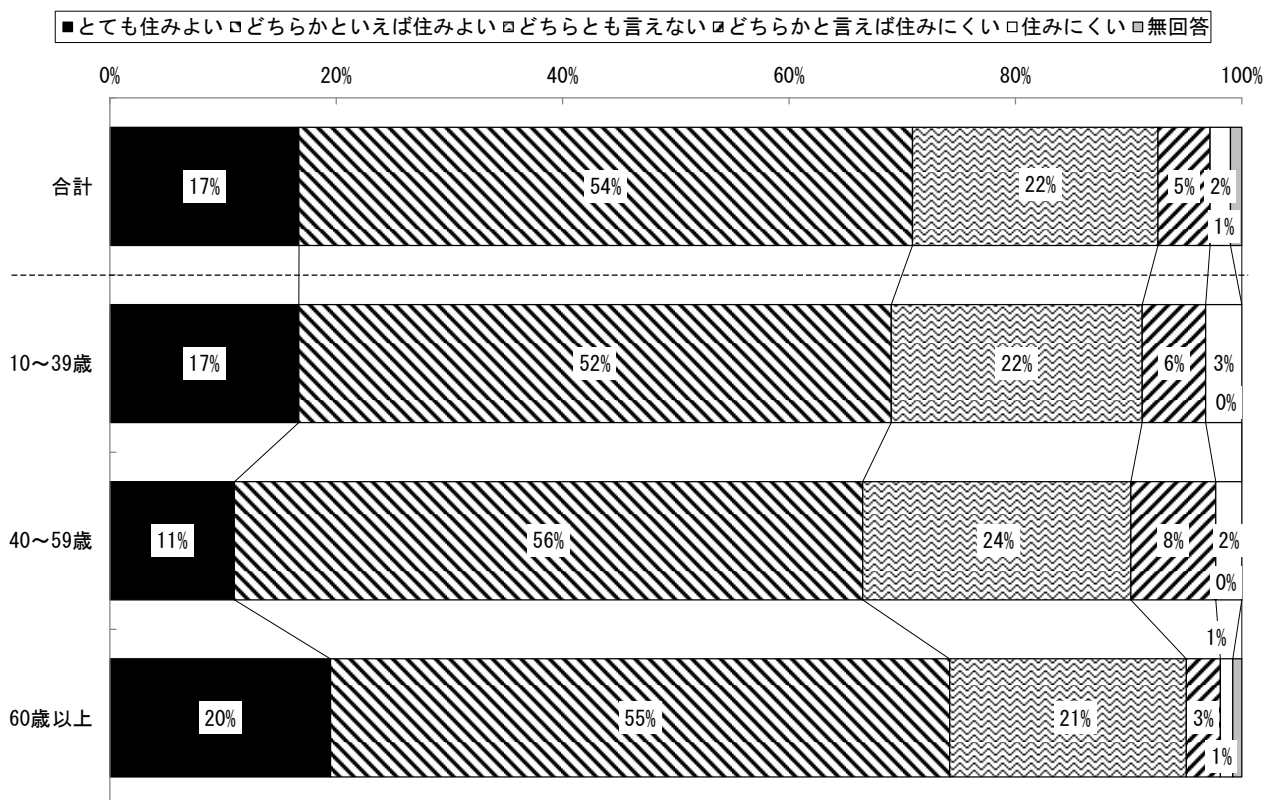
回答者全体の家族型は、「親と子」40%、「3世代（親と子と孫）」29%、「夫婦のみ」21%、「単身」5%、「その他（兄弟など）」3%、「寮、施設」0%となっています。

第2章 町全体に関わる満足度について

問8 まんのう町はあなたにとって住みよい町ですか。（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても住みよい	21	17%	19	11%	72	20%	0	0%	112	17%
どちらかといえば住みよい	66	52%	96	56%	202	55%	0	0%	364	54%
どちらとも言えない	28	22%	41	24%	77	21%	0	0%	146	22%
どちらかと言えば住みにくい	7	6%	13	8%	11	3%	0	0%	31	5%
住みにくい	4	3%	4	2%	4	1%	0	0%	12	2%
無回答	0	0%	0	0%	3	1%	4	100%	7	1%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

まんのう町の住みよさ

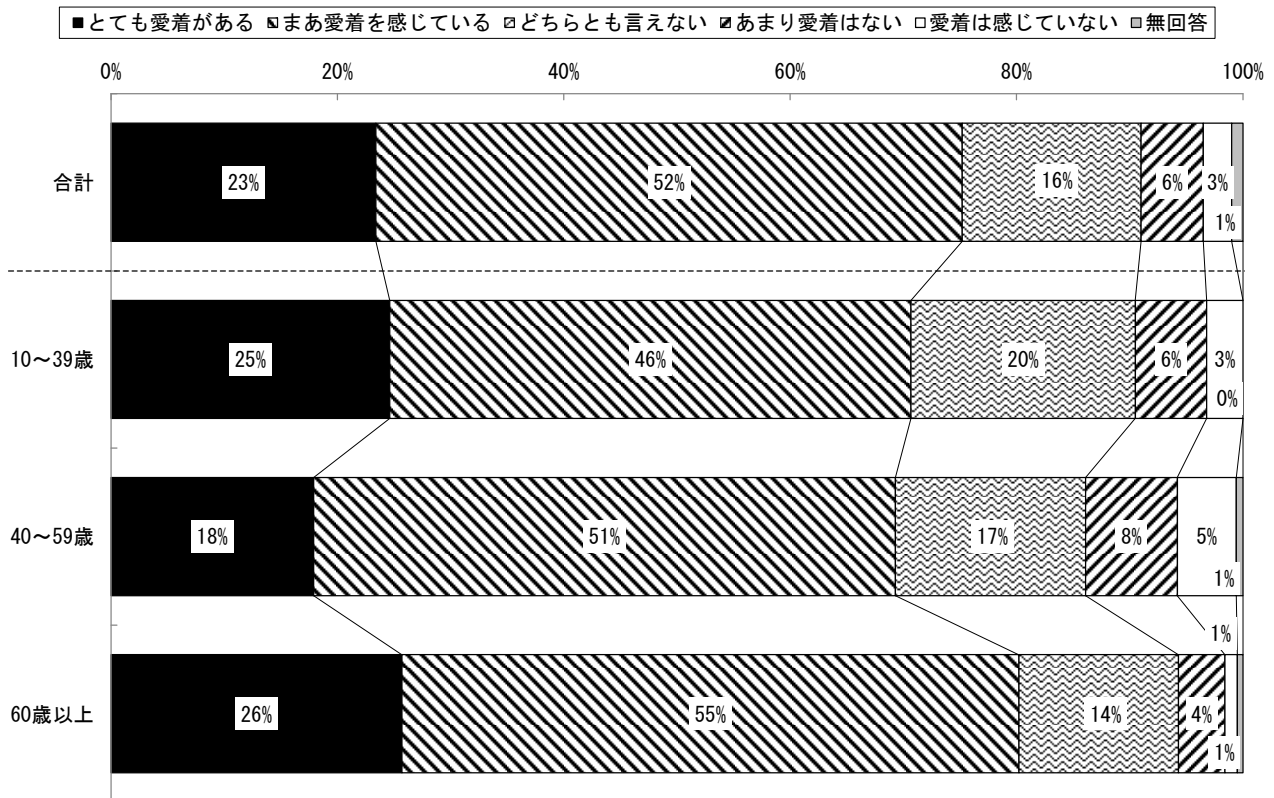


まんのう町は住みよい町かとの設問に対し、回答者全体では「とても住みよい」「どちらかといえば住みよい」がそれぞれ17%、54%となっており、両者を合わせると7割を超えています。また、その両者の合計について、「10～39歳」は69%、「40～59歳」は67%、「60歳以上」は75%と、各世代とも7割前後を占めています。

問9 あなたは、まんのう町に愛着を感じていますか。（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても愛着がある	31	25%	31	18%	95	26%	0	0%	157	23%
まあ愛着を感じている	58	46%	89	51%	201	55%	0	0%	348	52%
どちらとも言えない	25	20%	29	17%	52	14%	0	0%	106	16%
あまり愛着はない	8	6%	14	8%	15	4%	0	0%	37	6%
愛着を感じていない	4	3%	9	5%	4	1%	0	0%	17	3%
無回答	0	0%	1	1%	2	1%	4	100%	7	1%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

まんのう町に愛着を感じているか

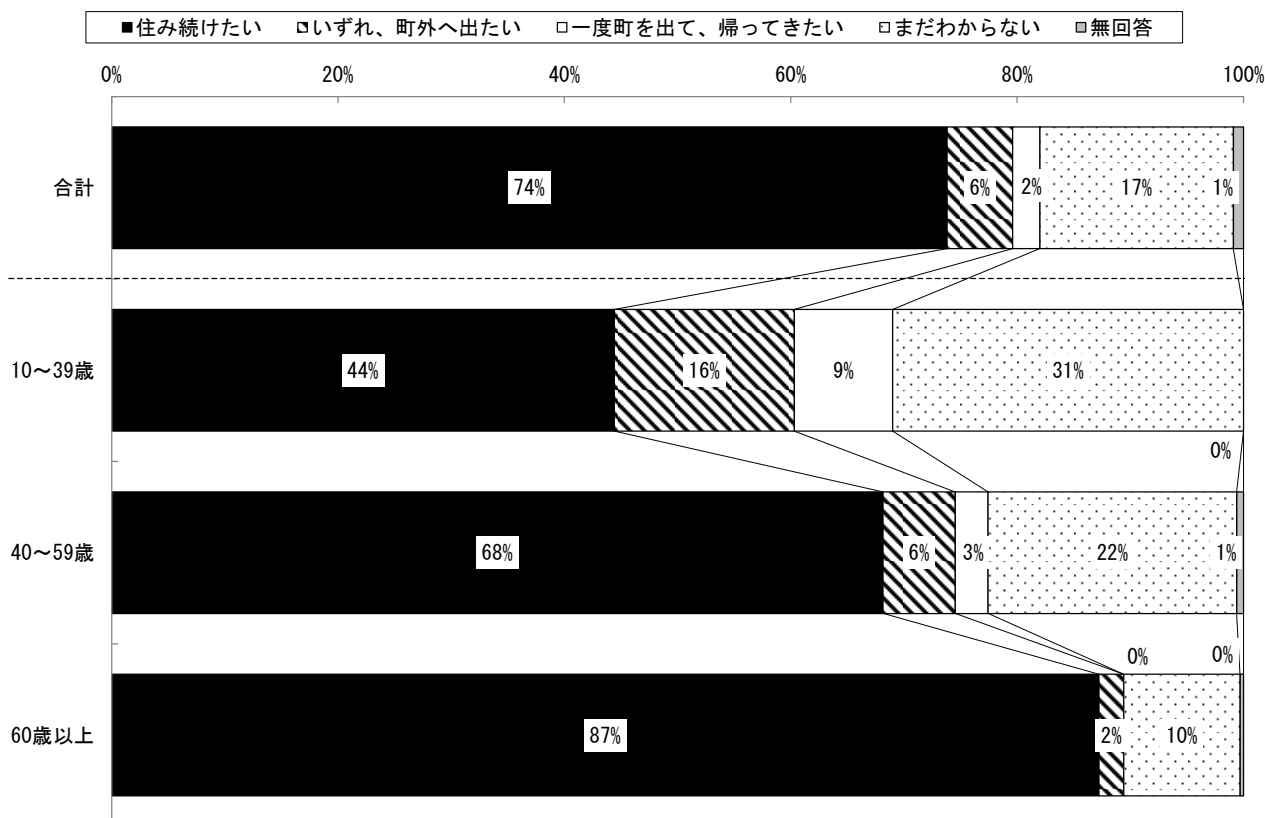


まんのう町に愛着を感じるかとの設問については、回答者全体では「とても愛着がある」「まあ愛着を感じている」がそれぞれ23%、52%となっています。また、それらを合わせると7割を超えますが、世代別にみると、「10～39歳」は71%、「40～59歳」は69%となっており、特に「60歳以上」では81%と、回答者全体よりもやや上回る結果となっています。

問10 あなたは、これからもまんのう町に住み続けたいですか。（1つに○）

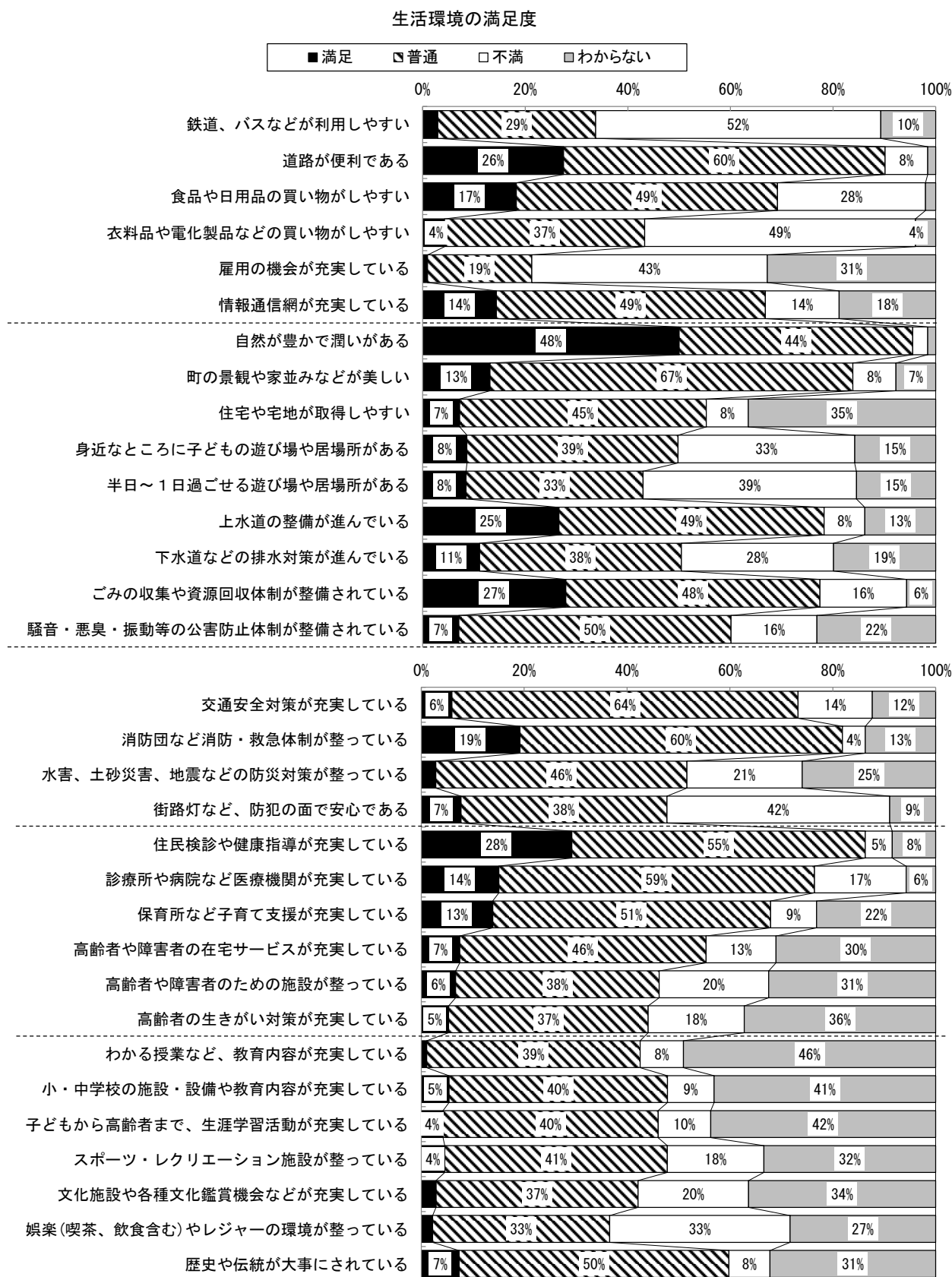
	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
住み続けたい	56	44%	118	68%	322	87%	0	0%	496	74%
いずれ、町外へ出たい	20	16%	11	6%	8	2%	0	0%	39	6%
一度町を出て、帰ってきたい	11	9%	5	3%	0	0%	0	0%	16	2%
まだわからない	39	31%	38	22%	38	10%	0	0%	115	17%
無回答	0	0%	1	1%	1	0%	4	100%	6	1%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

まんのう町に住み続けたいか



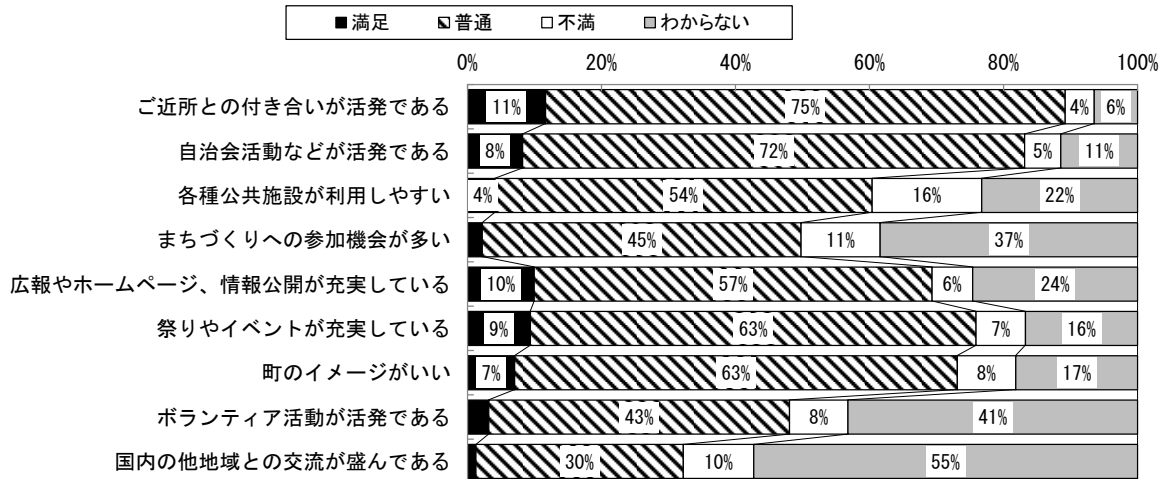
まんのう町に住み続けたいかとの設問については、「住み続けたい」が回答者全体で74%となっており、他よりも圧倒的に回答の割合が高くなっています。世代別では年齢が高くなるほど、「住み続けたい」の回答の割合が高くなり、「60歳以上」では87%と9割近くを占めています。

問11 次の項目について、どの程度満足していますか。各項目について、それぞれ1～4の番号に1つだけ○をつけてください。



N=672 (3%以下は不掲載)

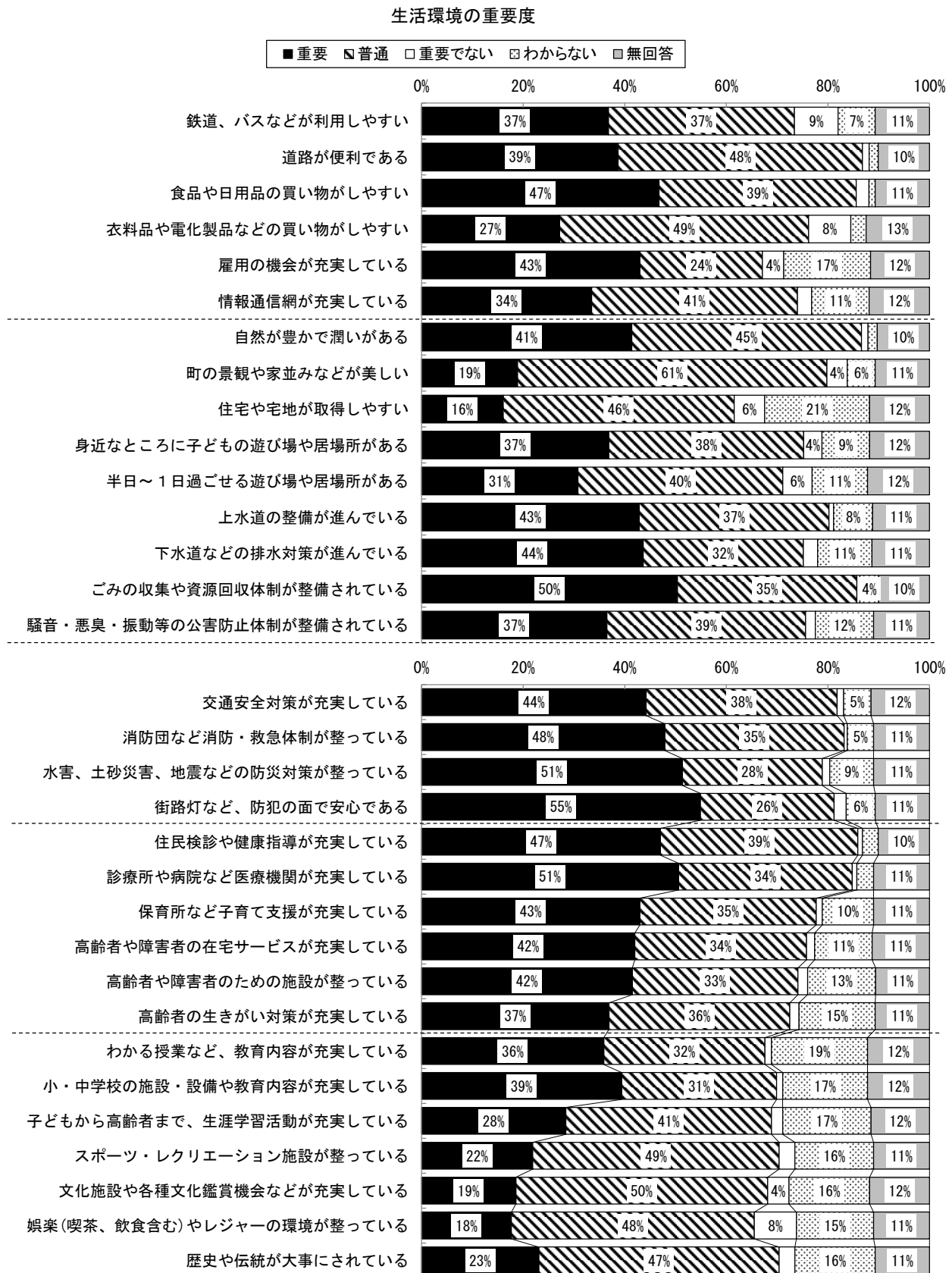
生活環境の満足度（続き）



回答者 N=672 （3%以下は不掲載）

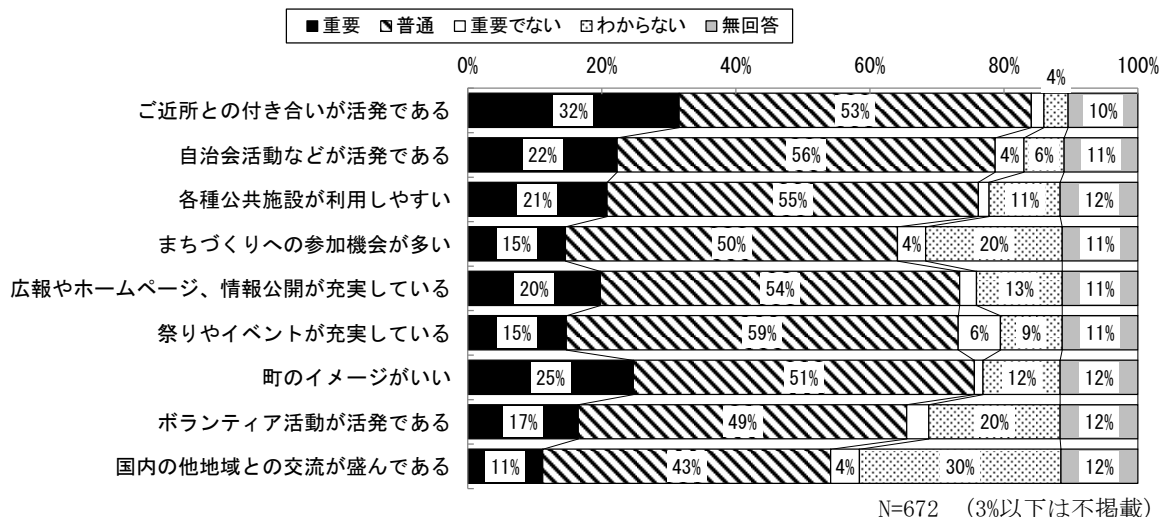
生活環境の満足度について、満足度が高いのは「自然が豊かで潤いがある」の48%を筆頭に、「住民健診や健康指導が充実している」28%、「ごみの収集や資源回収体制が整備されている」27%、「道路が便利である」26%などです。それに対して不満度が高いのは、「鉄道、バスが利用しやすい」52%、「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」49%、「雇用の機会が充実している」43%、「街路灯など、防犯の面で安心である」42%などとなっています。

問12 次の項目について、どの程度重要だと思いますか。各項目について、それぞれ1～4の番号に1つだけ○をつけてください。



N=672 (3%以下は不掲載)

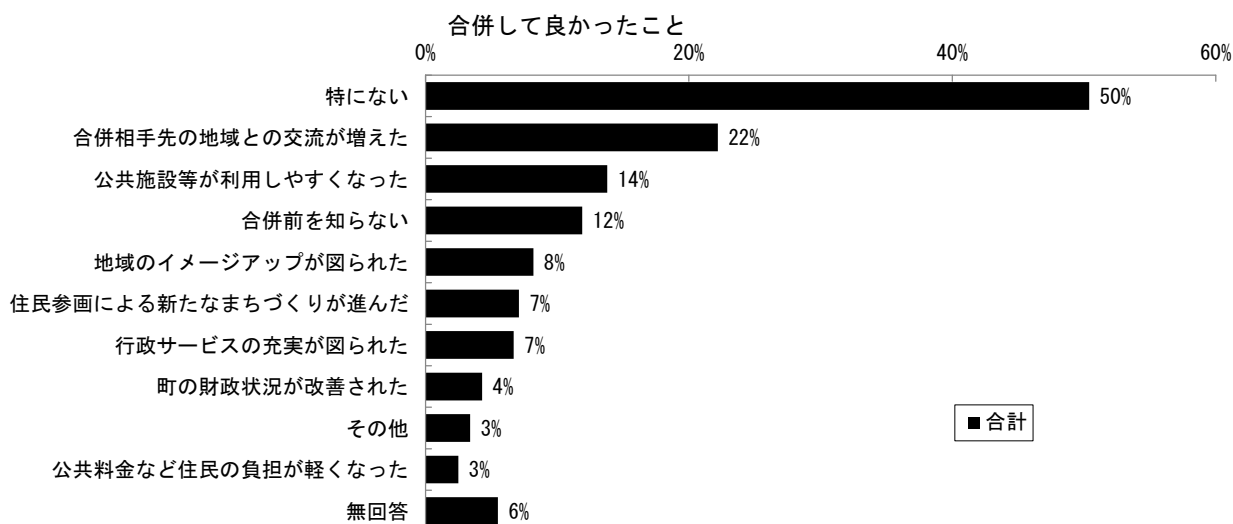
生活環境の重要度(続き)

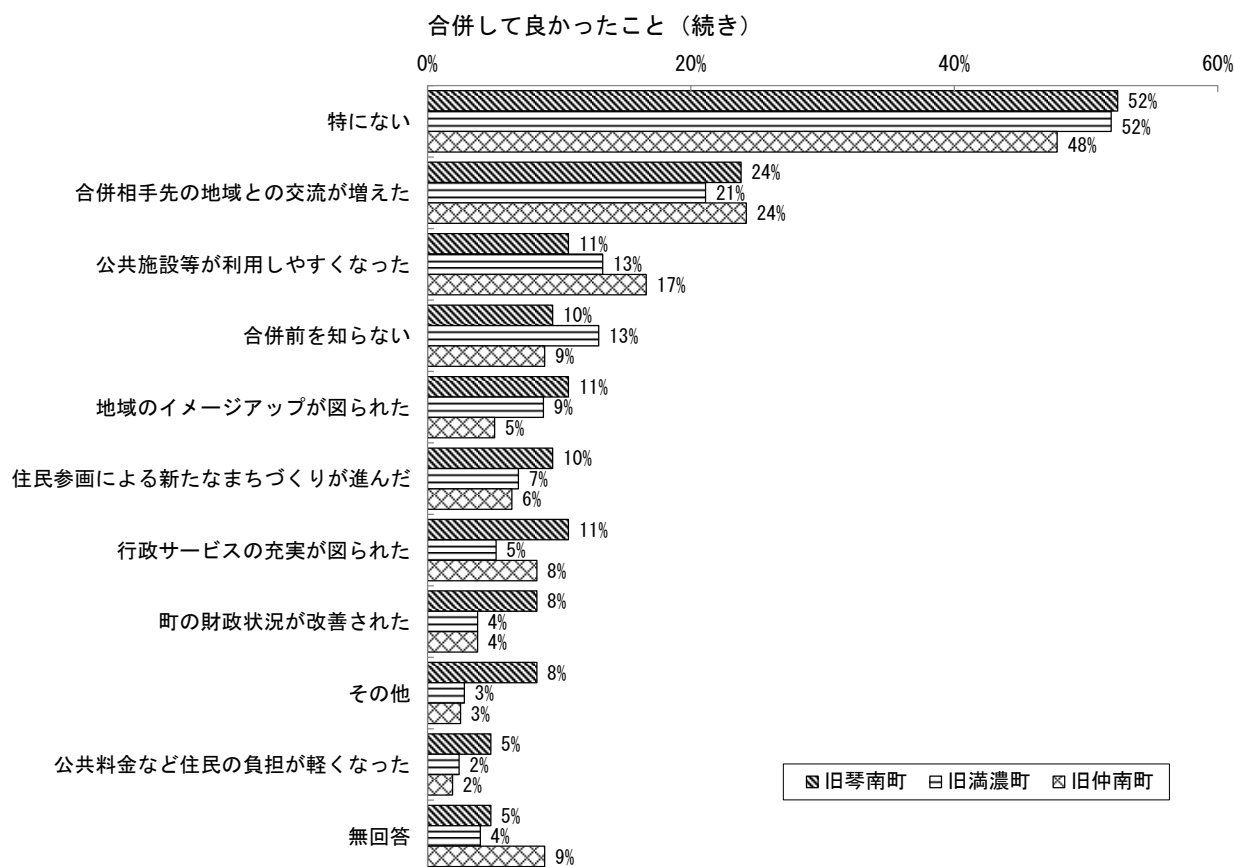


生活環境の重要度について、重要度が高いのは「街路灯など、防犯の面で安心である」55%、「水害、土砂災害、地震などの防災対策が整っている」「診療所や病院など医療機関が充実している」が共に51%となっています。それに対して「重要でない」については、「鉄道、バスなどが利用しやすい」9%をはじめ、全ての項目で1割を下回る結果となっています。

問13 琴南町、満濃町、仲南町の3町合併についてお聞きします。合併して、よかったと思うことはどんなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

	旧琴南町		旧満濃町		旧仲南町		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
公共施設等が利用しやすくなった	9	11%	56	13%	26	17%	2	22%	93	14%
地域のイメージアップが図られた	9	11%	37	9%	8	5%	1	11%	55	8%
合併相手先の地域との交流が増えた	20	24%	89	21%	38	24%	2	22%	149	22%
行政サービスの充実が図られた	9	11%	22	5%	13	8%	1	11%	45	7%
住民参画による新たなまちづくりが進んだ	8	10%	29	7%	10	6%	1	11%	48	7%
町の財政状況が改善された	7	8%	16	4%	6	4%	0	0%	29	4%
公共料金など住民の負担が軽くなった	4	5%	10	2%	3	2%	0	0%	17	3%
その他	7	8%	12	3%	4	3%	0	0%	23	3%
特にない	44	52%	219	52%	75	48%	1	11%	339	50%
合併前を知らない	8	10%	55	13%	14	9%	3	33%	80	12%
無回答	4	5%	17	4%	14	9%	2	22%	37	6%
合計	84	100%	422	100%	157	100%	9	100%	672	100%



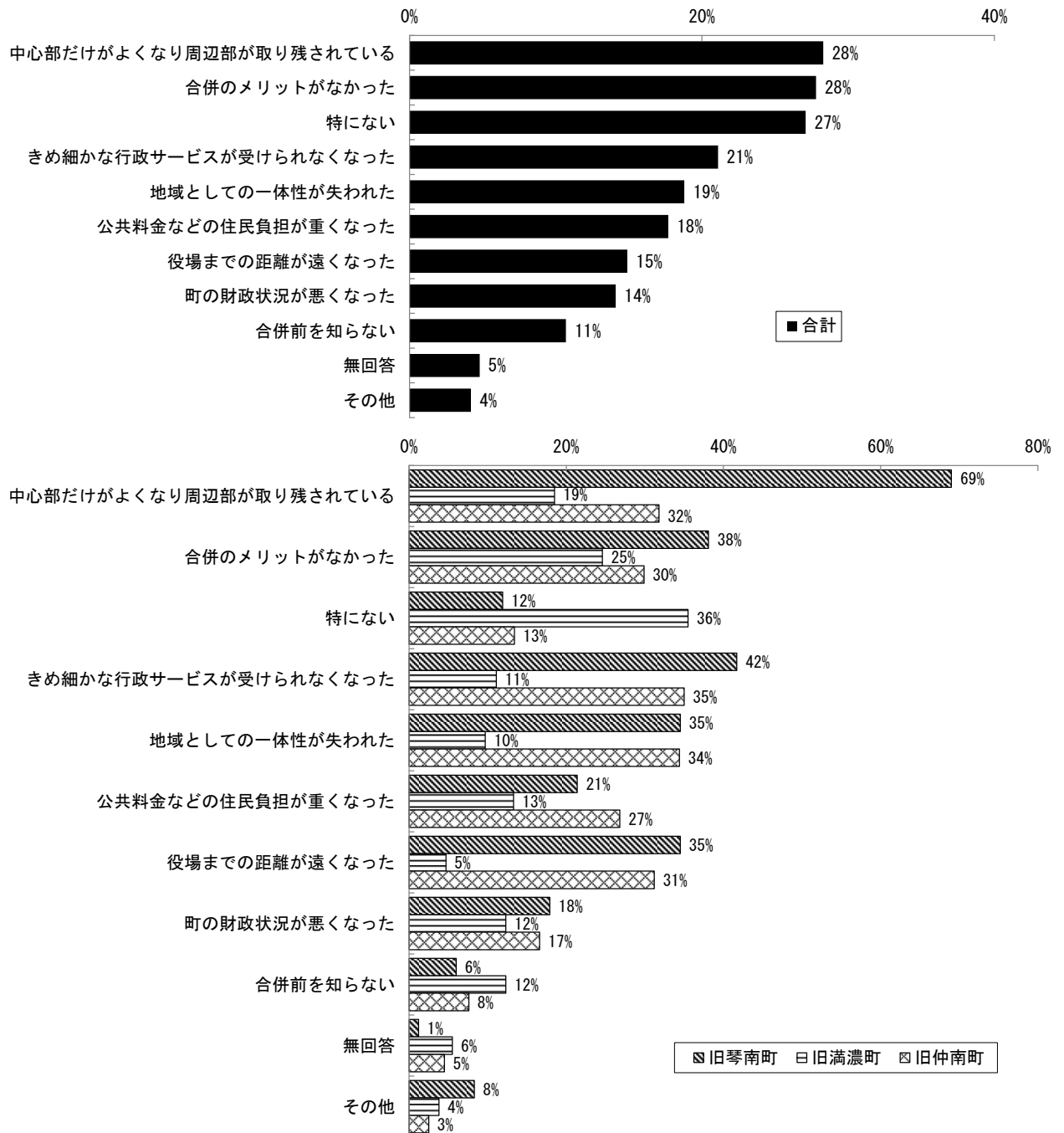


合併して良かったことについて、回答者全体では「特にない」が50%と最も高く、「合併相手先との交流が増えた」22%、「公共施設等が利用しやすくなった」14%などが続いています。また、旧町別において、項目によって数ポイントの違いは見られるものの、回答傾向はほぼ類似しています。

問14 逆に、合併して、よくなかったと思うことはどんなことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

	旧琴南町		旧満濃町		旧仲南町		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
地域としての一体性が失われた	29	35%	41	10%	54	34%	2	22%	126	19%
合併のメリットがなかった	32	38%	104	25%	47	30%	4	44%	187	28%
中心部だけがよくなり周辺部が取り残されている	58	69%	78	19%	50	32%	4	44%	190	28%
公共料金などの住民負担が重くなった	18	21%	56	13%	42	27%	3	33%	119	18%
きめ細かな行政サービスが受けられなくなった	35	42%	47	11%	55	35%	5	56%	142	21%
役場までの距離が遠くなった	29	35%	20	5%	49	31%	2	22%	100	15%
町の財政状況が悪くなった	15	18%	52	12%	26	17%	2	22%	95	14%
その他	7	8%	16	4%	4	3%	1	11%	28	4%
特にない	10	12%	150	36%	21	13%	1	11%	182	27%
合併前を知らない	5	6%	52	12%	12	8%	3	33%	72	11%
無回答	1	1%	23	6%	7	5%	1	11%	32	5%
合計	84	100%	422	100%	157	100%	9	100%	672	100%

合併してよくなかったこと



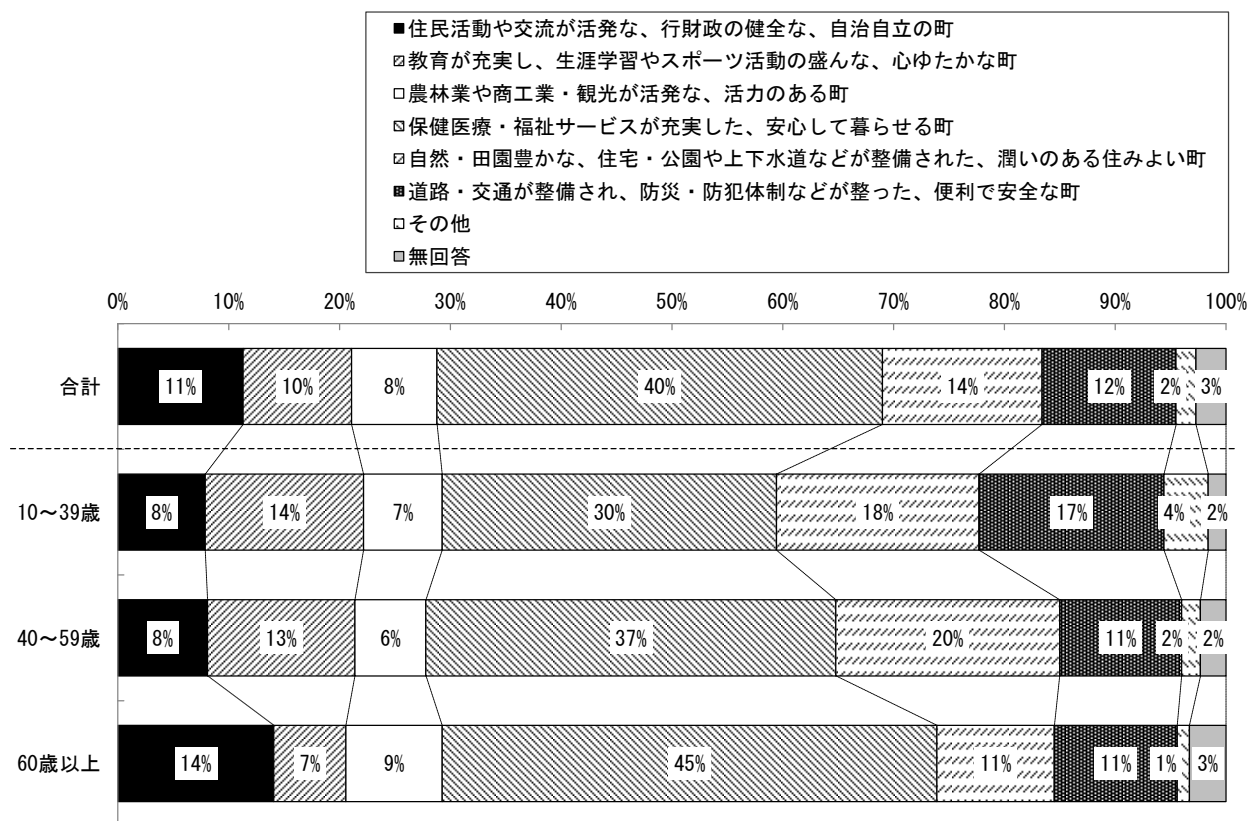
合併してよくなかったことについて、回答者全体では「中心部だけがよくなり周辺部が取り残されている」「合併のメリットがなかった」がともに28%となっており、続いて「特にない」27%となっています。旧町別にみると、旧琴南町で「中心部だけがよくなり周辺部が取り残されている」が69%と全体の回答割合を大きく上回っています。また、「きめ細かな行政サービスが受けられなくなった」、「地域としての一体性が失われた」、「役場までの距離が遠くなった」の3項目について、「旧琴南町」「旧仲南町」の回答割合が、全体の回答割合より約15ポイント以上高くなっています。

第3章 まちづくりの方向について

問15 あなたは、将来のまんのう町がどんな町になって欲しいですか。（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
住民活動や交流が活発な、行財政の健全な、自治自立の町	10	8%	14	8%	52	14%	0	0%	76	11%
教育が充実し、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心豊かな町	18	14%	23	13%	24	7%	1	25%	66	10%
農林業や商工業・観光が活発な、活力のある町	9	7%	11	6%	32	9%	0	0%	52	8%
保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせる町	38	30%	64	37%	165	45%	3	75%	270	40%
自然・田園豊かな、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよい町	23	18%	35	20%	39	11%	0	0%	97	14%
道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全な町	21	17%	19	11%	41	11%	0	0%	81	12%
その他	5	4%	3	2%	4	1%	0	0%	12	2%
無回答	2	2%	4	2%	12	3%	0	0%	18	3%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

将来まんのう町がどんな町になって欲しいか



将来のまんのう町の姿として、「保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせる町」を望む声が全体で4割を占めています。世代別において「10～39歳」では3割で、回答者の年齢が高くなるに従って回答の割合が高くなっています。「60歳以上」では45%と、約半数近くを占めています。

問16 今後のまんのう町のまちづくりの基本方針について、次のそれぞれ2つの正反対の考え方では、あなたはどちらを選ばれますか。（それぞれ1つに○）

① 開発か、自然環境の保全か

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
開発	29	23%	22	13%	61	17%	0	0%	112	17%
保全	84	67%	122	71%	220	60%	0	0%	426	63%
わからない	12	10%	24	14%	58	16%	2	50%	96	14%
無回答	1	1%	5	3%	30	8%	2	50%	38	6%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

② 産業重視か、生活・文化重視か

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
産業重視	18	14%	18	10%	59	16%	0	0%	95	14%
生活重視	94	75%	122	71%	218	59%	0	0%	434	65%
わからない	12	10%	25	15%	52	14%	1	25%	90	13%
無回答	2	2%	8	5%	40	11%	3	75%	53	8%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

③ 施設(ハード)か、活動内容(ソフト)か

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
施設重視	41	33%	32	19%	53	14%	0	0%	126	19%
活動重視	56	44%	98	57%	154	42%	0	0%	308	46%
わからない	26	21%	34	20%	118	32%	1	25%	179	27%
無回答	3	2%	9	5%	44	12%	3	75%	59	9%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

④ 個性的なまちか、平均的なまちか

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
個性的	53	42%	59	34%	85	23%	0	0%	197	29%
平均的	51	41%	89	51%	177	48%	0	0%	317	47%
わからない	19	15%	18	10%	67	18%	1	25%	105	16%
無回答	3	2%	7	4%	40	11%	3	75%	53	8%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

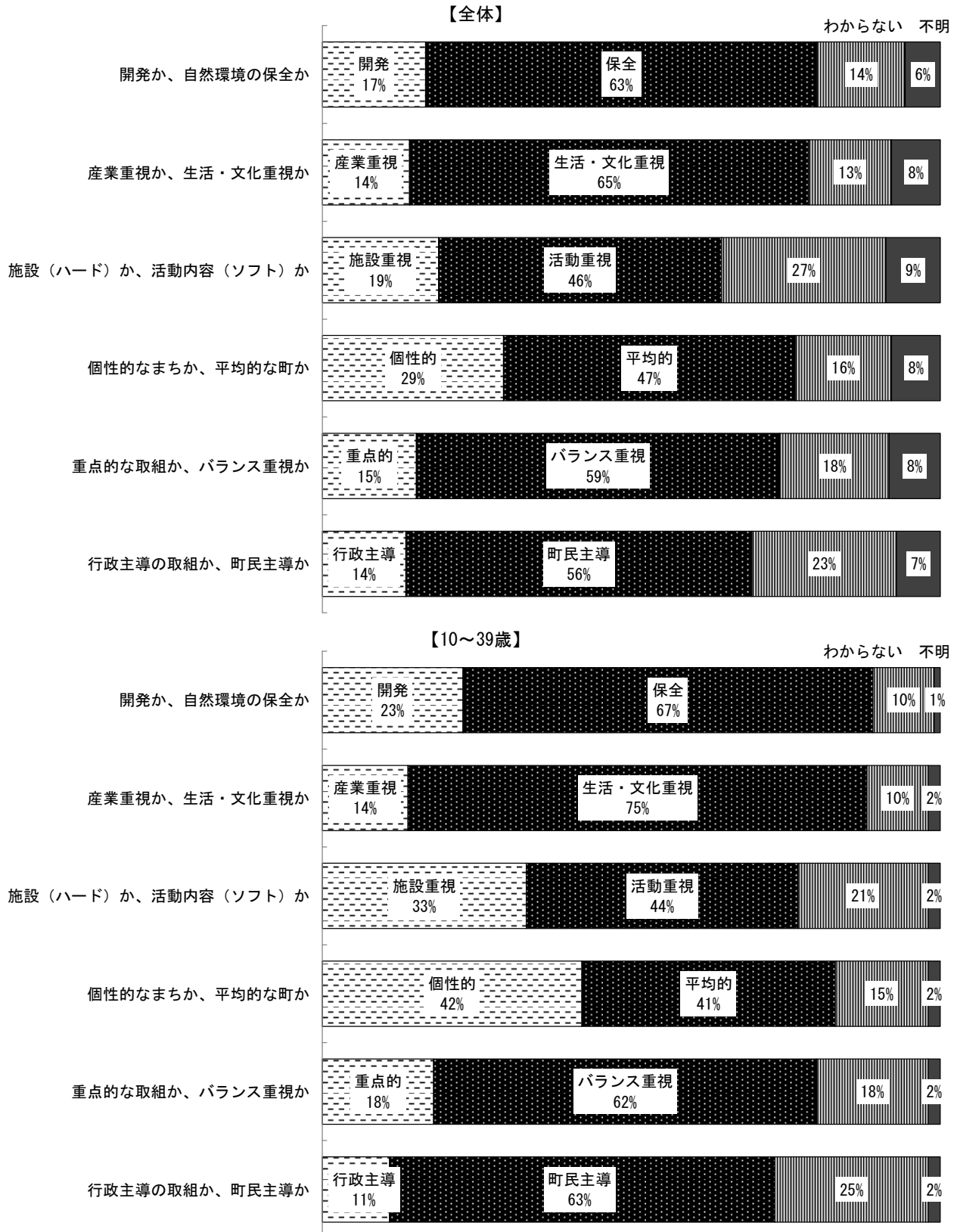
⑤ 重点的な取組か、バランス重視か

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
重点的	23	18%	31	18%	48	13%	0	0%	102	15%
バランス重視	78	62%	114	66%	203	55%	0	0%	395	59%
わからない	23	18%	20	12%	75	20%	1	25%	119	18%
無回答	2	2%	8	5%	43	12%	3	75%	56	8%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

⑥ 行政主導の取組みか、町民主導か

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
行政主導	14	11%	23	13%	54	15%	0	0%	91	14%
町民主導	79	63%	105	61%	191	52%	1	25%	376	56%
わからない	31	25%	37	21%	87	24%	2	50%	157	23%
無回答	2	2%	8	5%	37	10%	1	25%	48	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

今後のまんのう町のまちづくりの基本方針

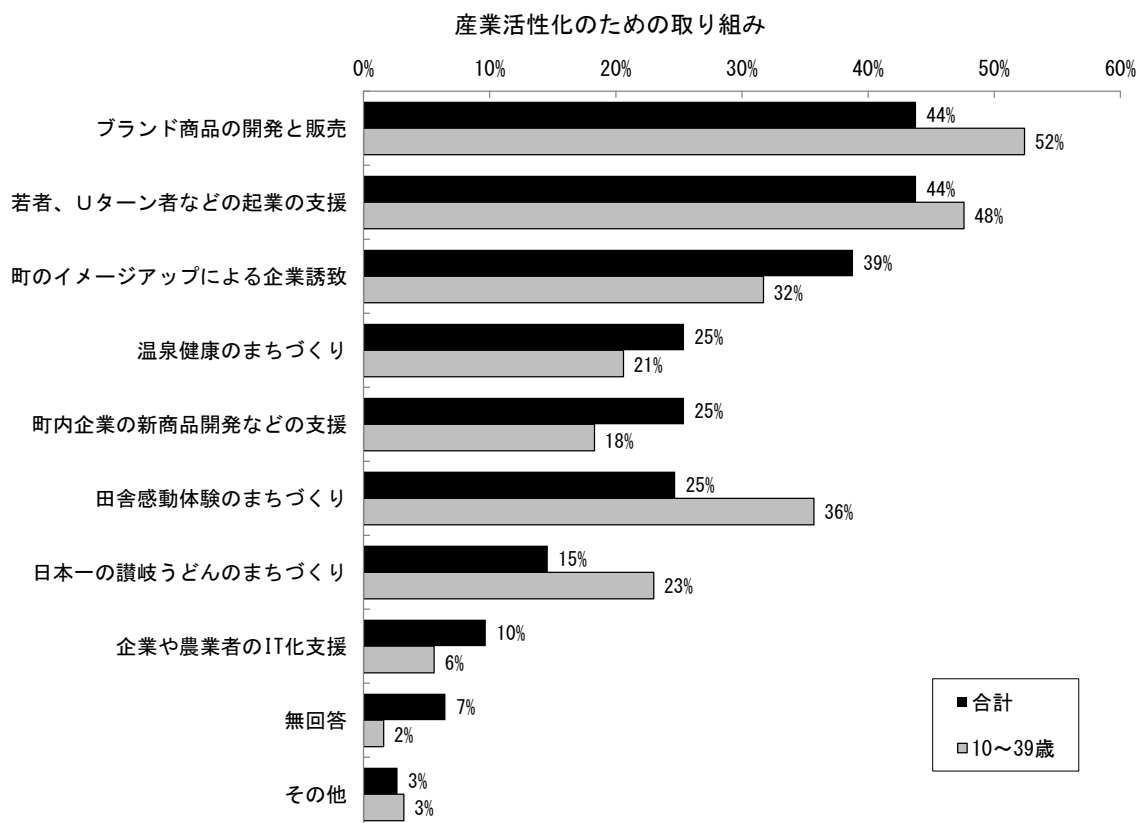


今後のまんのう町の基本方針として、「10～39歳」では「生活・文化重視」75%、「施設重視」33%、「個性的」42%となっており、回答者全体と比較すると、それぞれの項目で10ポイント程度高くなっています。

第4章 産業振興について

問17 産業の活性化のために、どのような取組が必要でしょうか。（3つまで○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
道の駅・直売所を核とした「まんのうブランド商品」の開発と販売	66	52%	72	42%	154	42%	2	50%	294	44%
うどん祭りやうどん名人による体験会など、日本一の「讃岐うどん」のまちづくり	29	23%	18	10%	49	13%	2	50%	98	15%
温泉健康のまちづくり（温泉健康インストラクターの育成、リハビリなど）	26	21%	34	20%	110	30%	1	25%	171	25%
農業体験や民泊など、田舎感動体験（グリーンツーリズム）のまちづくり	45	36%	40	23%	80	22%	1	25%	166	25%
県や大学などと連携した、町内企業の新商品開発、新規事業進出などの支援	23	18%	53	31%	94	26%	1	25%	171	25%
若者や女性、Uターン者などの起業（新会社づくり）の支援	60	48%	84	49%	149	40%	1	25%	294	44%
町のイメージアップによる、空校舎などを活かした企業誘致	40	32%	75	43%	145	39%	1	25%	261	39%
企業や農業者のホームページ作成やインターネットなどの支援	7	6%	21	12%	37	10%	0	0%	65	10%
その他	4	3%	5	3%	9	2%	0	0%	18	3%
無回答	2	2%	6	4%	35	10%	1	25%	44	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



産業活性化の取組みについて、「ブランド商品の開発と販売」、「若者、Uターン者などの起業の支援」が回答者全体でともに44%と高く、続いて「町のイメージアップによる企業誘致」39%となっています。「10～39歳」では「田舎感動体験のまちづくり」が、回答者全体より10ポイント以上高くなっています。

第5章 健康について

問18 あなたは、普段、以下のことがあてはまりますか。（それぞれ1つに○）

① 朝食を食べないことがある

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	40	32%	37	21%	21	6%	1	25%	99	15%
あてはまらない	85	67%	130	75%	309	84%	1	25%	525	78%
無回答	1	1%	6	3%	39	11%	2	50%	48	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

② 野菜をあまり食べない

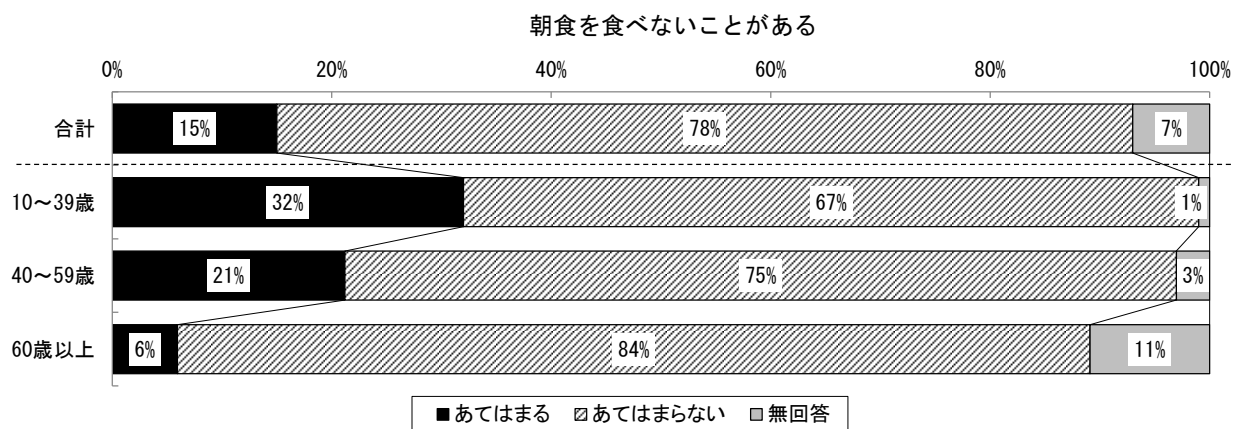
	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	31	25%	34	20%	50	14%	0	0%	115	17%
あてはまらない	93	74%	133	79%	271	73%	0	0%	497	74%
無回答	2	2%	6	1%	48	13%	4	100%	60	9%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

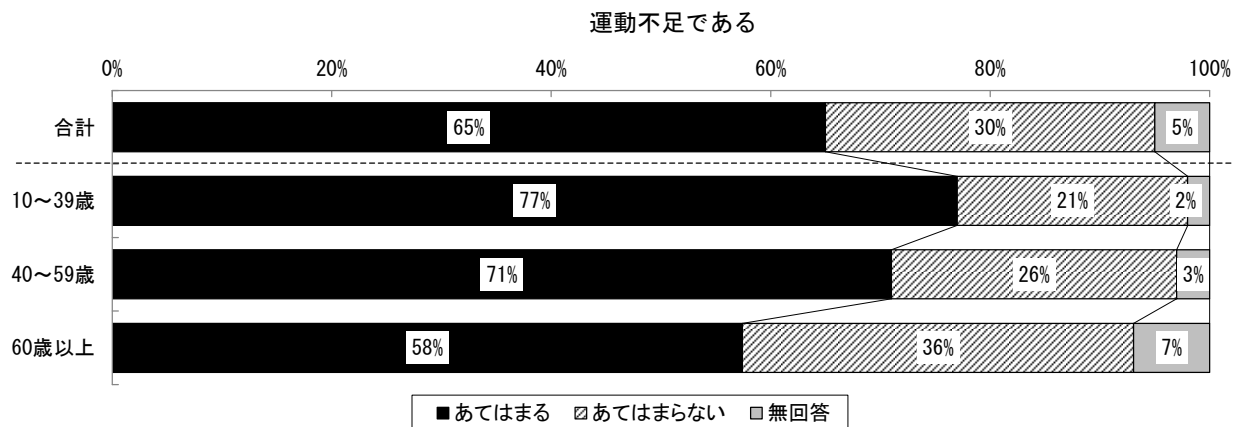
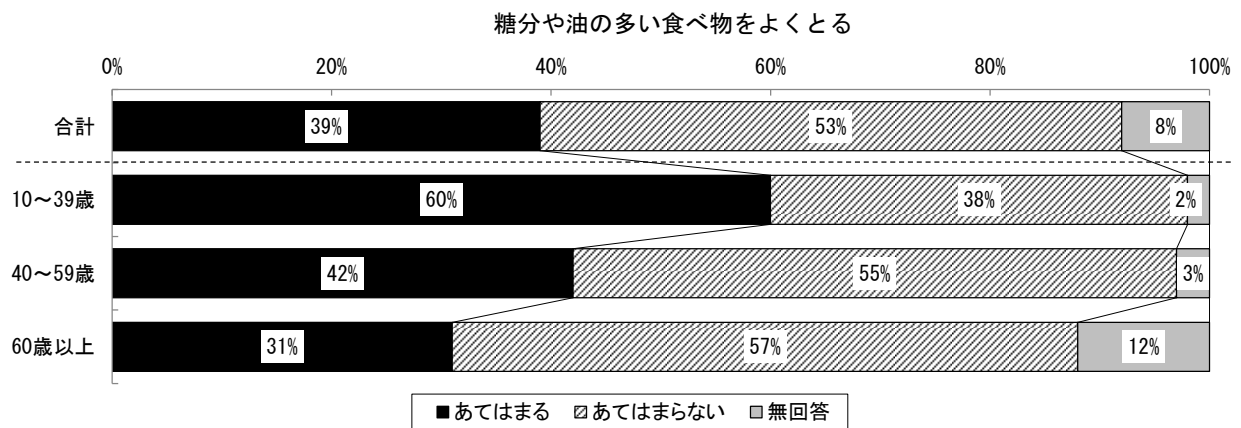
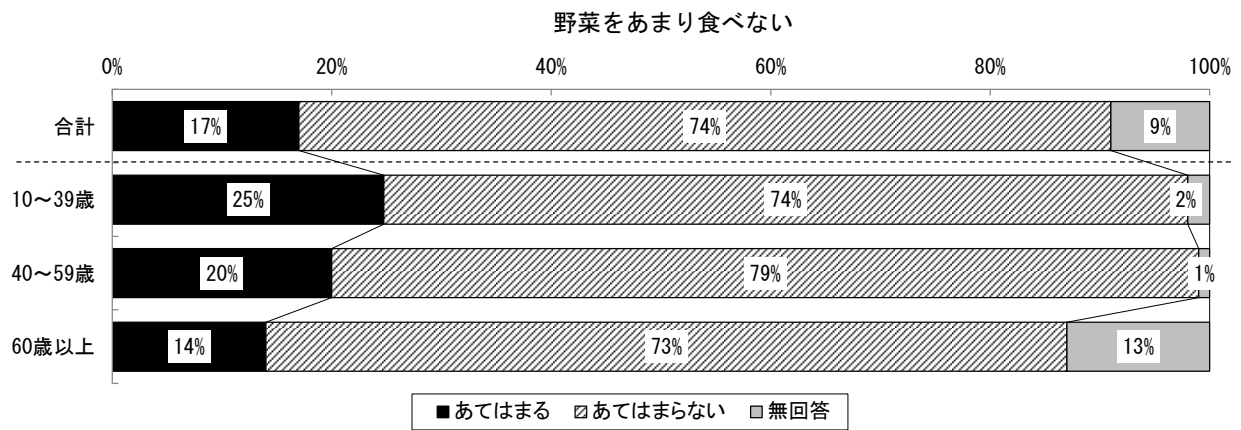
③ 糖分や油の多い食べ物をよくとる

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	76	60%	72	42%	115	31%	1	25%	264	39%
あてはまらない	48	38%	95	55%	211	57%	1	25%	355	53%
無回答	2	2%	6	3%	43	12%	2	50%	53	8%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

④ 運動不足である

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	97	77%	123	71%	213	58%	1	25%	434	65%
あてはまらない	27	21%	45	26%	131	36%	0	0%	203	30%
無回答	2	2%	5	3%	25	7%	3	75%	35	5%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



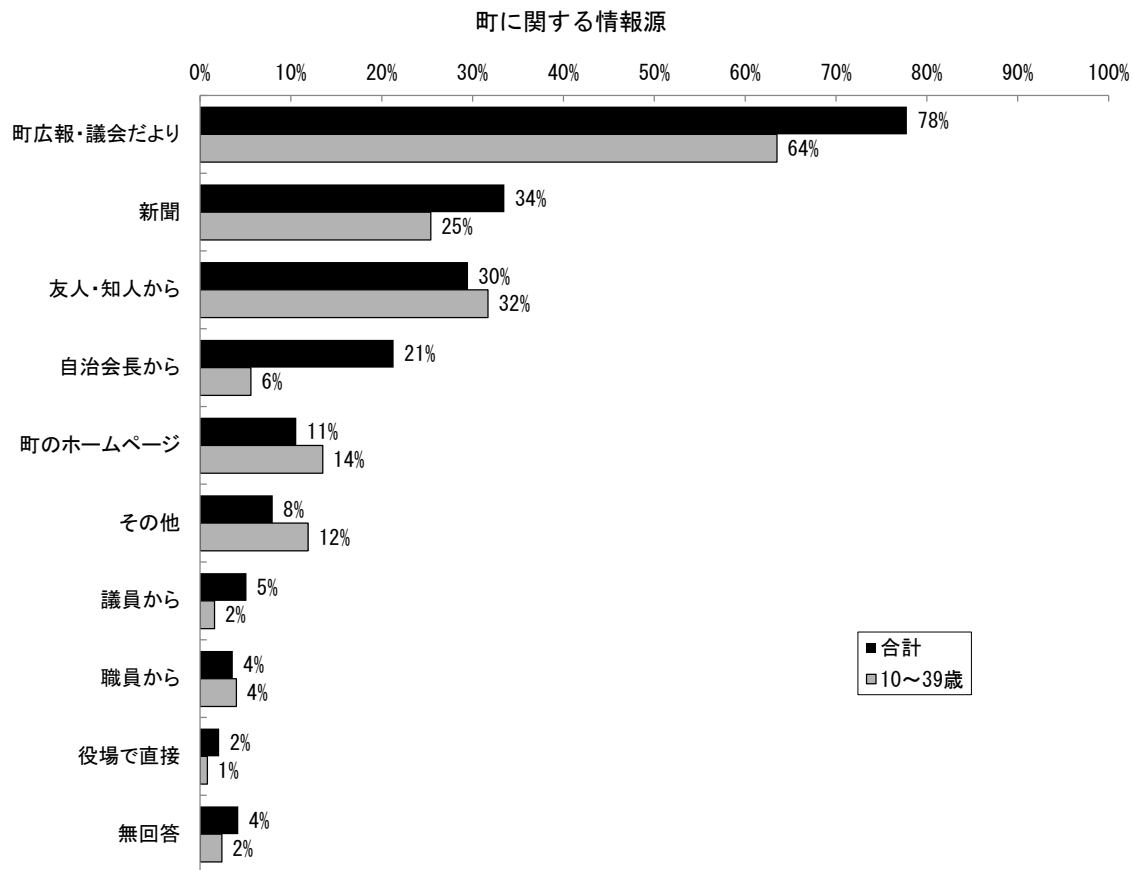


健康についての設問では、回答者全体で「朝食を食べないことがある」に対して「あてはまらない」が78%、「野菜をあまり食べない」に対して「あてはまらない」が74%となっています。また、回答者全体で「運動不足である」に対して「あてはまる」が65%となっていますが、「10～39歳」「40～59歳」ではそれぞれ77%、71%と、全体をやや上回っています。

第6章 情報通信について

問19 あなたは町に関する情報を主に何から得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
町広報・議会だより	80	64%	147	85%	295	80%	1	25%	523	78%
町のホームページ	17	14%	17	10%	36	10%	1	25%	71	11%
新聞	32	25%	50	29%	142	39%	1	25%	225	34%
役場で直接	1	1%	4	2%	8	2%	1	25%	14	2%
議員から	2	2%	5	3%	27	7%	0	0%	34	5%
職員から	5	4%	8	5%	11	3%	0	0%	24	4%
自治会長から	7	6%	42	24%	93	25%	1	25%	143	21%
友人・知人から	40	32%	46	27%	112	30%	0	0%	198	30%
その他	15	12%	13	8%	26	7%	0	0%	54	8%
無回答	3	2%	3	2%	19	5%	3	75%	28	4%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

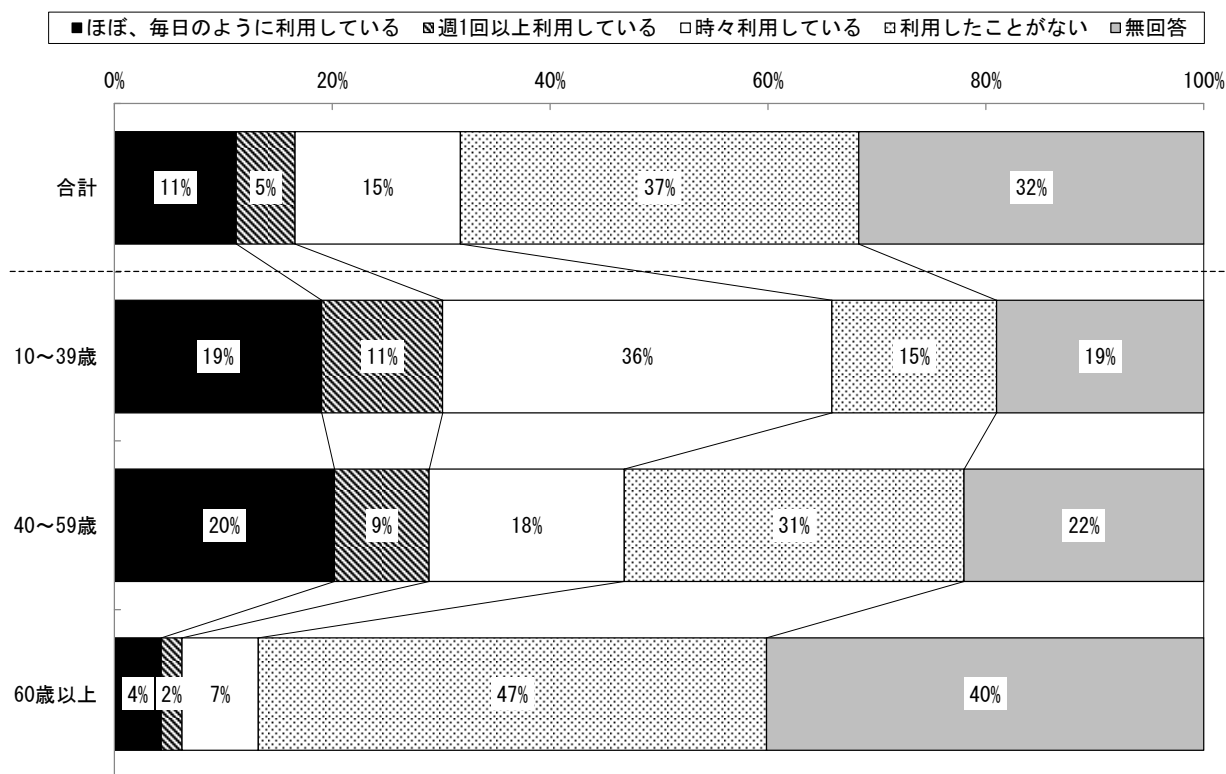


町に関する情報源について、回答者全体では「町広報・議会だより」が78%と、回答の割合が極めて高くなっており、続いて「新聞」34%、「友人・知人から」30%となっています。「10～39歳」では「町広報・議会だより」64%、「友人・知人から」32%、「新聞」25%の順になっています。また「自治会長から」においては6%と、回答者全体より15ポイント低くなっています。

問20 あなたは、普段、パソコンで、電子メールのやりとりやホームページの閲覧をしていますか。（それぞれ1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほぼ、毎日のように利用している	24	19%	35	20%	16	4%	0	0%	75	11%
週1回以上利用している	14	11%	15	9%	7	2%	0	0%	36	5%
時々利用している	45	36%	31	18%	26	7%	0	0%	102	15%
利用したことがない	19	15%	54	31%	172	47%	1	25%	246	37%
無回答	24	19%	38	22%	148	40%	3	75%	213	32%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

パソコンによるインターネット利用頻度

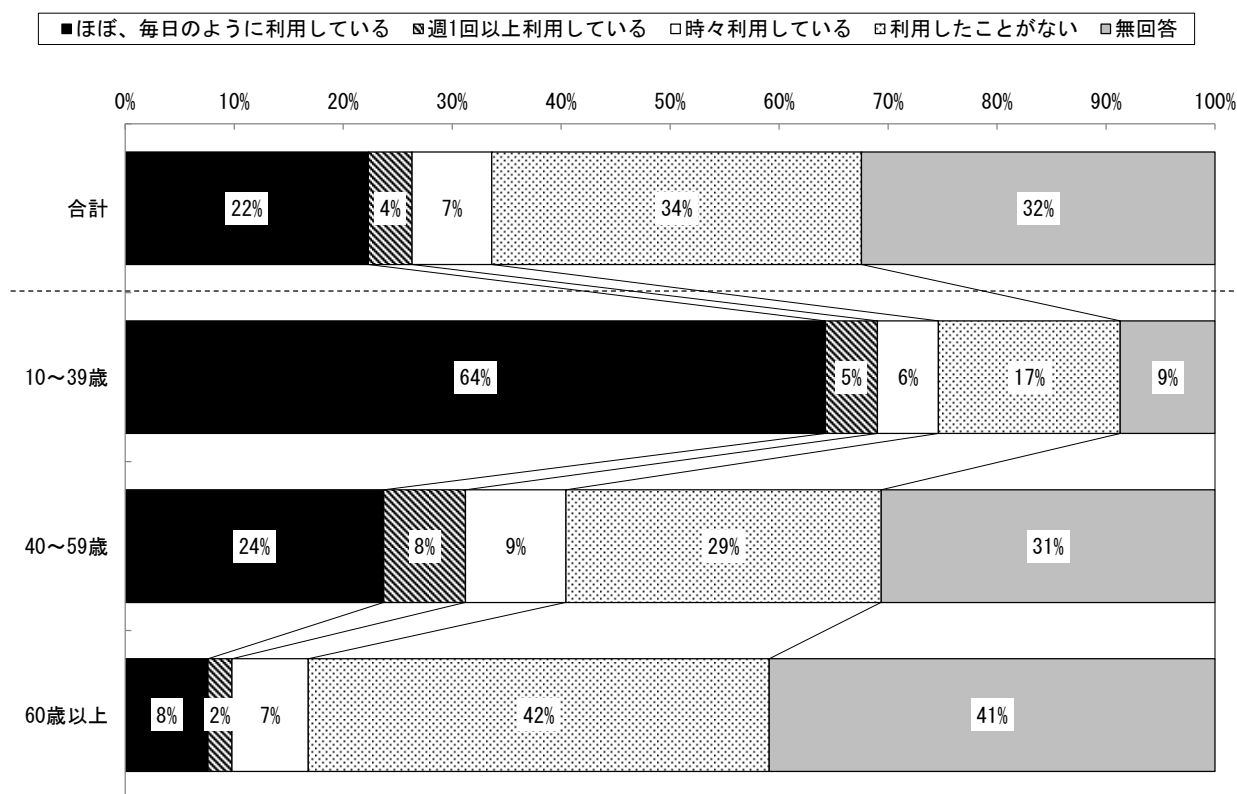


パソコンによるインターネットの利用頻度について、回答者全体では「ほぼ、毎日のように利用している」11%、「週1回以上利用している」5%、「時々利用している」15%であり、それらを合わせた利用者の合計が31%となっています。その利用者の合計を世代別にみると、「10～39歳」は66%となっているのに対して、「60歳以上」では13%と世代間に大きな隔たりが見られます。

問21 あなたは、普段、携帯電話で、電子メールのやりとりやホームページの閲覧をしていますか。（それぞれ1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほぼ、毎日のように利用している	81	64%	41	24%	28	8%	0	0%	150	22%
週1回以上利用している	6	5%	13	8%	8	2%	0	0%	27	4%
時々利用している	7	6%	16	9%	26	7%	0	0%	49	7%
利用したことがない	21	17%	50	29%	156	42%	1	25%	228	34%
無回答	11	9%	53	31%	151	41%	3	75%	218	32%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

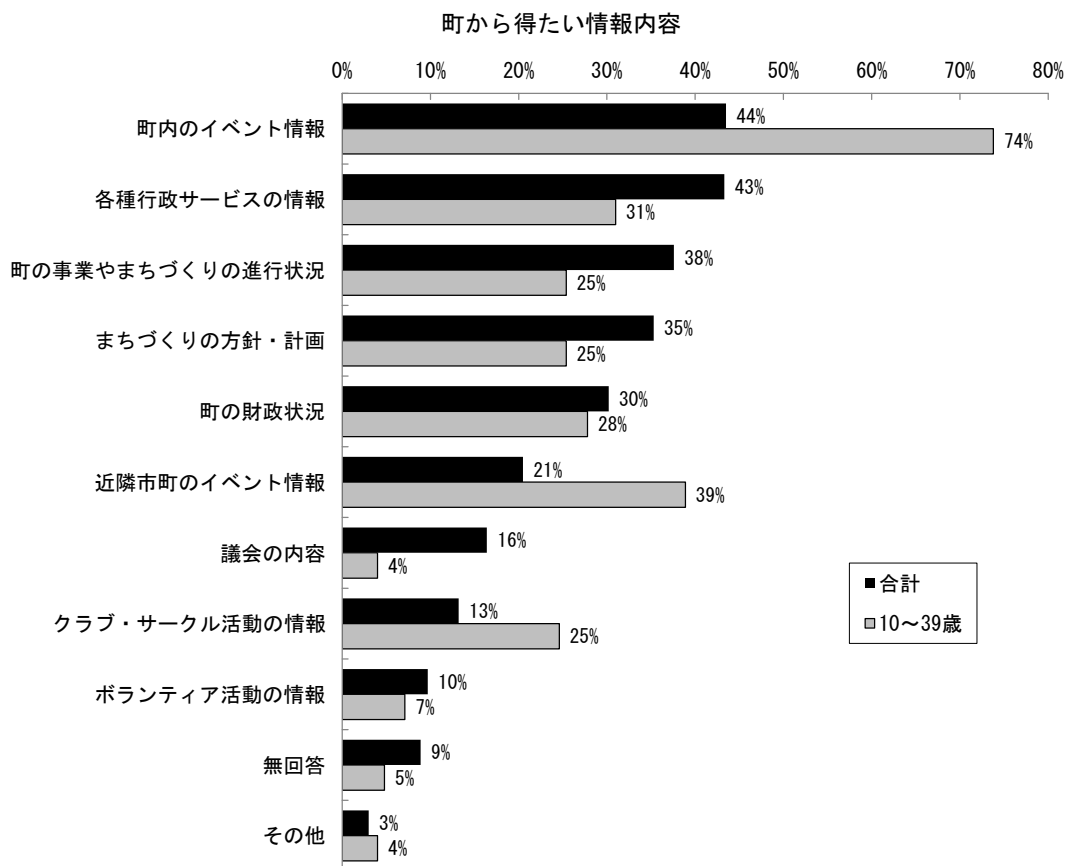
携帯電話によるインターネット利用頻度



携帯電話によるインターネットの利用頻度について、回答者全体では「ほぼ、毎日のように利用している」22%、「週1回以上利用している」4%、「時々利用している」7%となっています。それらを合わせた利用者合計が33%と、前問のパソコンの利用者合計と同程度となっています。世代別にみると、「10～39歳」では「ほぼ毎日のように利用している」が64%と、他の世代よりも著しく高くなっており、「60歳以上」では「利用したことがない」が42%となっています。

問22 あなたは町からどのような内容の情報がほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
町内のイベント情報	93	74%	74	43%	125	34%	0	0%	292	44%
近隣市町のイベント情報	49	39%	33	19%	56	15%	0	0%	138	21%
まちづくりの方針・計画	32	25%	57	33%	147	40%	1	25%	237	35%
町の事業やまちづくりの進行状況	32	25%	73	42%	147	40%	1	25%	253	38%
町の財政状況	35	28%	48	28%	120	33%	0	0%	203	30%
各種行政サービスの情報	39	31%	97	56%	154	42%	1	25%	291	43%
クラブ・サークル活動の情報	31	25%	31	18%	27	7%	0	0%	89	13%
ボランティア活動の情報	9	7%	17	10%	38	10%	1	25%	65	10%
議会の内容	5	4%	27	16%	78	21%	0	0%	110	16%
その他	5	4%	5	3%	10	3%	0	0%	20	3%
無回答	6	5%	9	5%	43	12%	2	50%	60	9%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



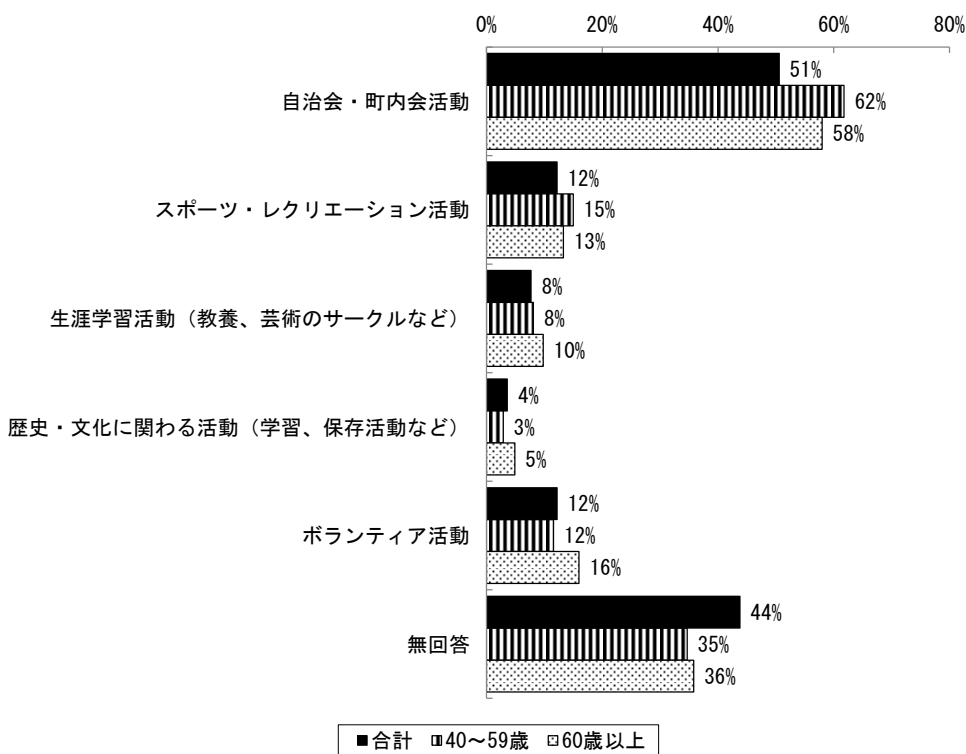
町から得たい情報内容について、回答者全体では「町内のイベント情報」44%、「各種行政サービスの情報」43%と、回答割合が高くなっており、続いて「町の事業やまちづくりの進行状況」38%、「まちづくりの方針」35%となっています。世代別にみると、「10～39歳」では「町内のイベント情報」が回答者全体よりも30ポイント上回っています。それに続いて「近隣市町のイベント情報」39%、「各種行政サービスの情報」31%となっています。

第7章 地域活動について

問23 あなたは、以下の活動に参加していますか。現在参加している活動のすべてに○を付けてください。

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自治会・町内会活動	19	15%	107	62%	214	58%	0	0%	340	51%
スポーツ・レクリエーション活動	7	6%	26	15%	49	13%	0	0%	82	12%
生涯学習活動（教養、芸術のサークルなど）	2	2%	14	8%	36	10%	0	0%	52	8%
歴史・文化に関わる活動（学習、保存活動など）	1	1%	5	3%	18	5%	0	0%	24	4%
ボランティア活動	3	2%	20	12%	59	16%	0	0%	82	12%
無回答	98	78%	60	35%	132	36%	4	100%	294	44%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

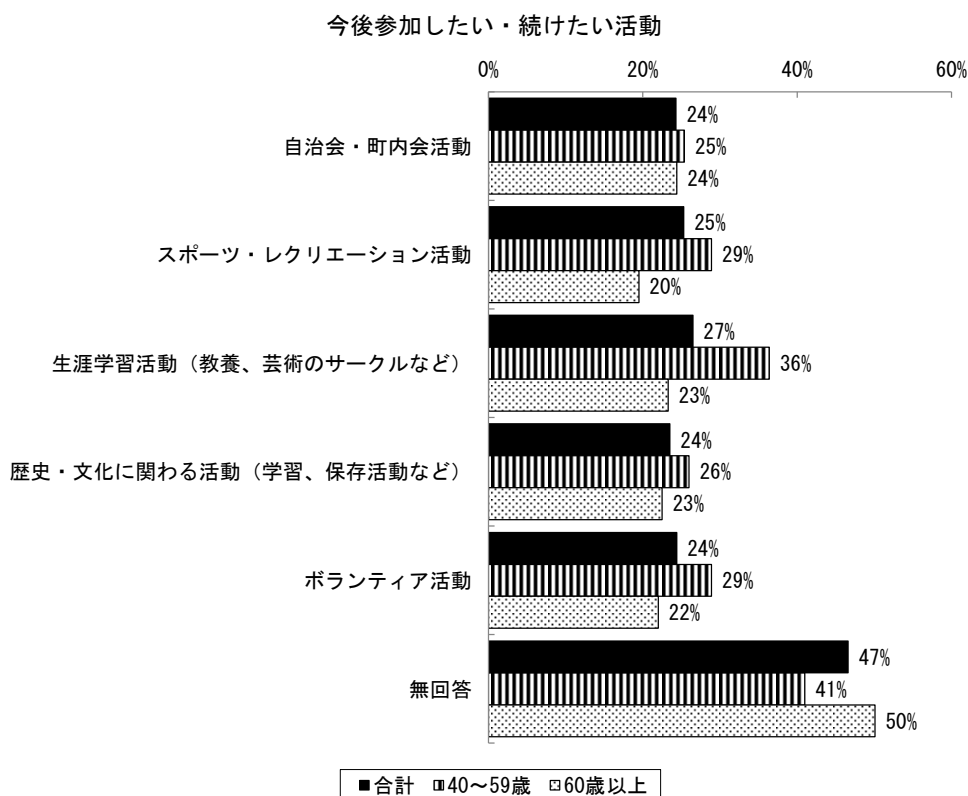
現在参加している活動



現在参加している活動について、回答者全体では「自治会・町内会活動」が51%と回答割合が最も高く、続いて「スポーツ・レクリエーション活動」、「ボランティア活動」がともに12%となっています。「自治会・町内会活動」を世代別にみると、「40歳～59歳」「60歳以上」では6割前後と最も高くなっています。

問24 あなたは、以下の活動に今後、参加したい（あるいは、続けたい）でしょうか。今後参加したい活動のすべてに○を付けてください。

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自治会・町内会活動	29	23%	44	25%	90	24%	0	0%	163	24%
スポーツ・レクリエーション活動	48	38%	50	29%	72	20%	0	0%	170	25%
生涯学習活動（教養、芸術のサークルなど）	29	23%	63	36%	86	23%	0	0%	178	27%
歴史・文化に関わる活動（学習、保存活動など）	30	24%	45	26%	83	23%	0	0%	158	24%
ボランティア活動	33	26%	50	29%	81	22%	0	0%	164	24%
無回答	53	42%	71	41%	185	50%	4	100%	313	47%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



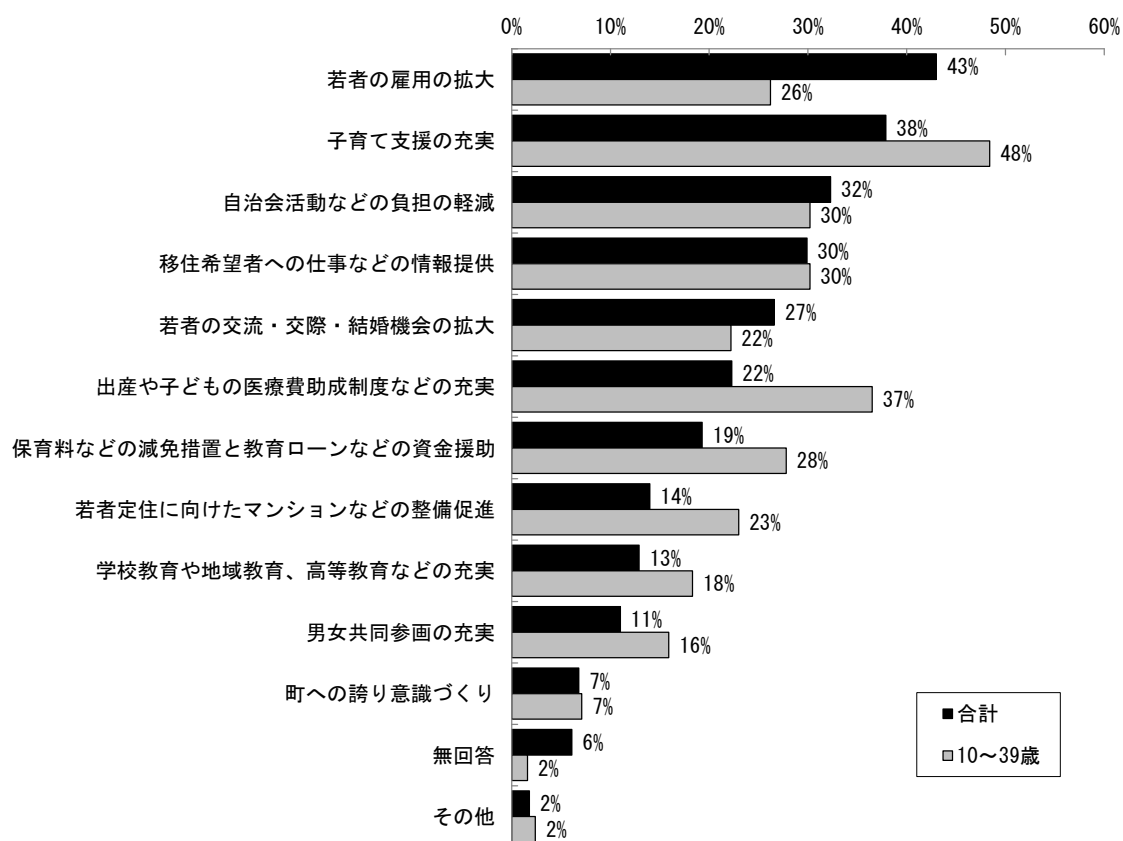
今後参加したい・続けたい活動について、回答者全体ではいずれの項目も25%前後となっています。「40～59歳」では「生涯学習活動」が36%と、全体より約10ポイント高くなっているとともに、「生涯学習活動」を含めたそれぞれの活動で、全体の回答割合を数ポイント上回っています。

第8章 少子化対策について

問25 あなたは、少子化が進むまんのう町において、若者の定住や結婚・子育てのためにどのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
若者の起業支援、既存企業の経営革新の支援、企業誘致などによる若者の雇用の拡大	33	26%	86	50%	169	46%	1	25%	289	43%
Uターン（帰郷）や移住希望者に対する仕事や住宅などの情報提供	38	30%	50	29%	113	31%	0	0%	201	30%
個性的なまちづくりと情報発信、郷土学習による町への誇り意識づくり	9	7%	16	9%	21	6%	0	0%	46	7%
若者の交流・交際・結婚機会の拡大に向けたクラブ活動やイベントなどの支援	28	22%	27	16%	123	33%	1	25%	179	27%
若者定住に向けたマンションや住宅地などの整備促進	29	23%	29	17%	36	10%	0	0%	94	14%
若い世代の自治会活動などの負担の軽減や古いしきたりなどの改善	38	30%	67	39%	111	30%	1	25%	217	32%
女性の雇用機会の充実と男女共同参画の充実	20	16%	19	11%	34	9%	1	25%	74	11%
保育所や子育てサークル、子育てしやすい職場環境など子育て支援の充実	61	48%	69	40%	124	34%	1	25%	255	38%
出産や子どもの医療費の助成制度などの充実	46	37%	42	24%	62	17%	0	0%	150	22%
保育料などの減免措置と教育ローンなどの資金援助	35	28%	41	24%	54	15%	0	0%	130	19%
学校教育や地域教育、高等教育などの充実	23	18%	26	15%	38	10%	0	0%	87	13%
その他	3	2%	3	2%	6	2%	0	0%	12	2%
無回答	2	2%	5	3%	32	9%	2	50%	41	6%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

若者の定住などのために必要なこと

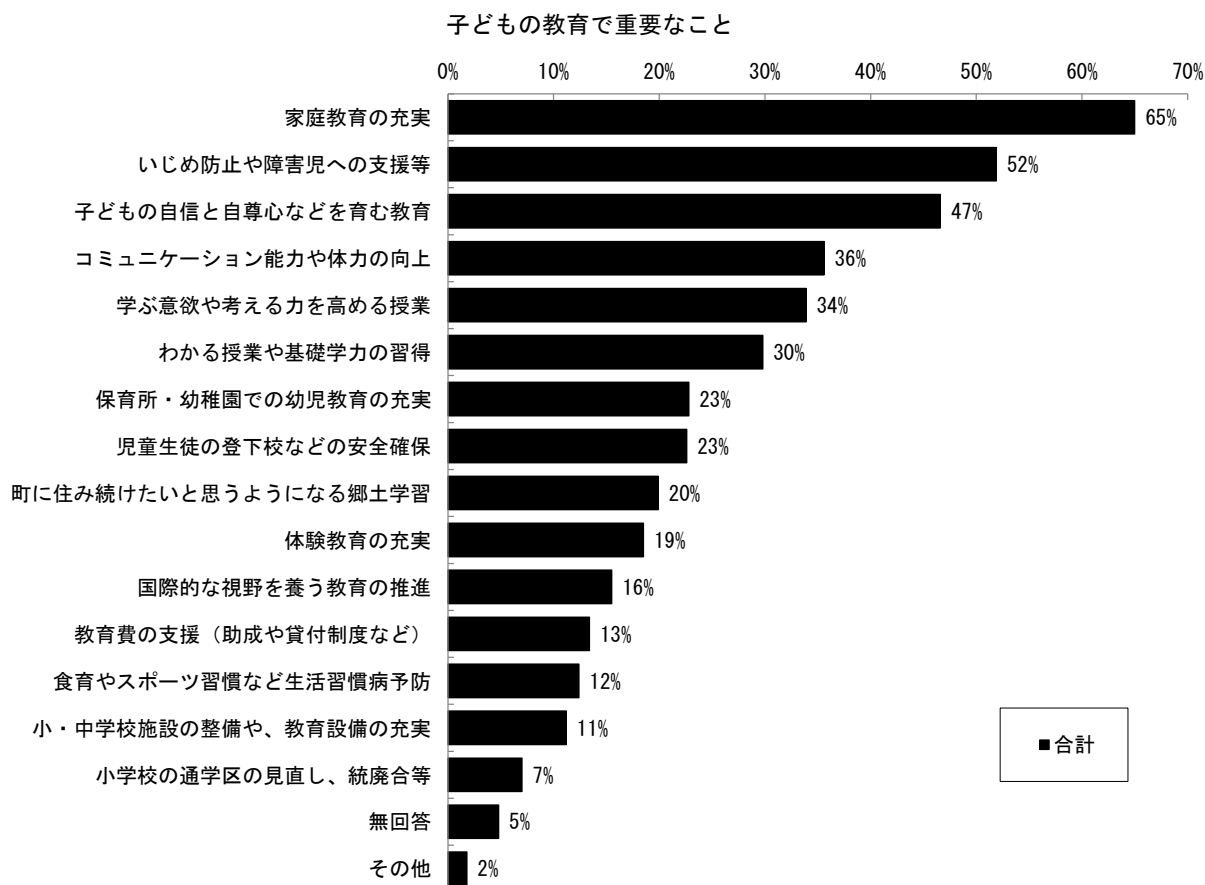


若者の定住などのために必要なことについて、回答者全体では「若者の雇用の拡大」が43%と最も回答の割合が高く、次いで「子育て支援の充実」38%、「自治会活動などの負担の軽減」32%などとなっています。「10～39歳」では「子育て支援の充実」が48%と回答の割合が最も高く、「出産や子どもの医療費助成制度の充実」37%、「自治会活動などの負担の軽減」「移住希望者などへの情報提供」がともに30%と続いています。

第9章 教育について

問26 子どもの教育について重要と考えることはどのようなことですか。（5つまで〇）

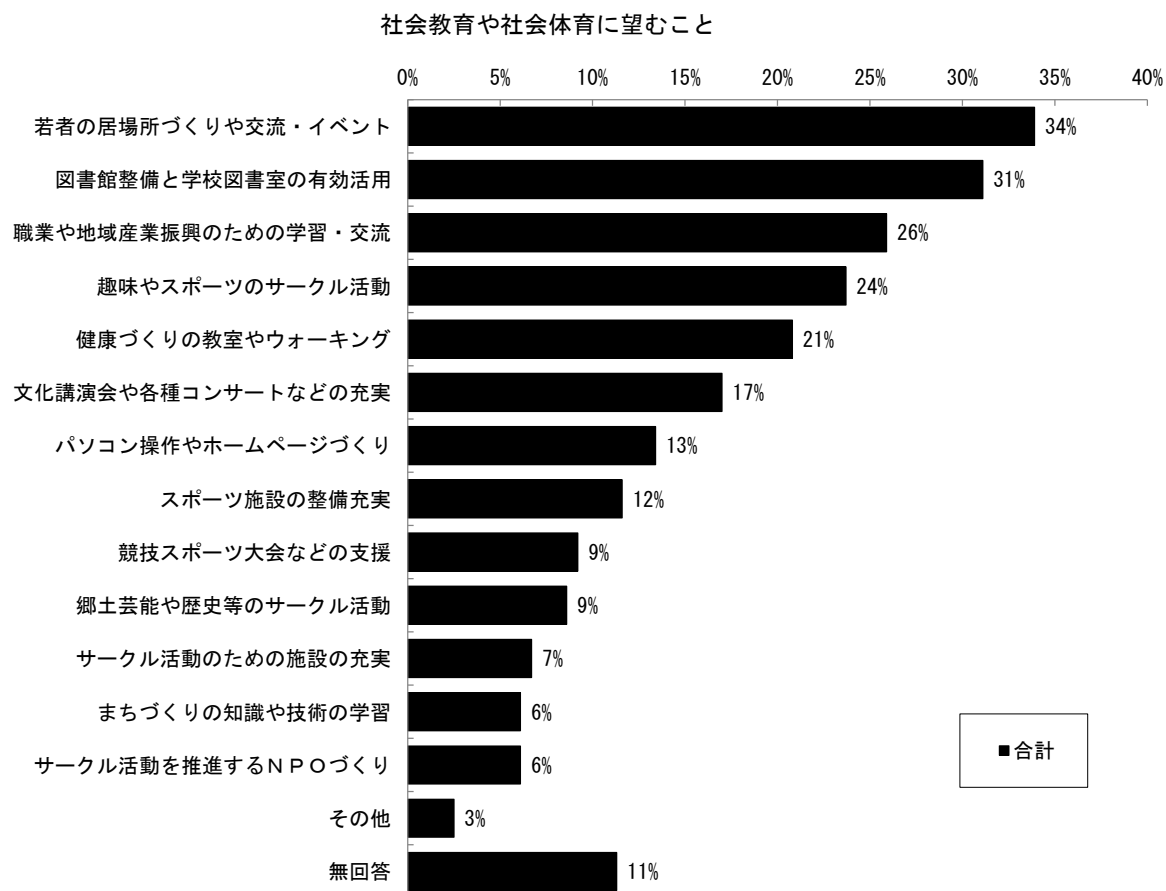
	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家事や家業の手伝い、挨拶、早寝早起き朝ご飯などの家庭教育の充実	80	64%	100	58%	255	69%	2	50%	437	65%
子どもの自信と自尊心、自立心を育む、ほめて伸ばし、力をつける教育の推進	47	37%	80	46%	185	50%	1	25%	313	47%
屋外での集団遊びの充実によるコミュニケーション能力や体力の向上	61	48%	61	35%	116	31%	1	25%	239	36%
保育所・幼稚園での幼児教育の充実	33	26%	49	28%	70	19%	1	25%	153	23%
興味をかきたてる授業や読書活動など、学ぶ意欲や考える力を高める授業の実施	40	32%	71	41%	117	32%	0	0%	228	34%
わかる授業や家庭学習習慣の確立による基礎学力の習得	35	28%	71	41%	94	26%	0	0%	200	30%
町の自然や歴史、仕事、まちづくり、ボランティア活動などの体験教育の充実	32	25%	29	17%	63	17%	0	0%	124	19%
生活習慣病予防に向けた食育やスポーツ習慣確立に向けた教育の充実	11	9%	25	15%	45	12%	2	50%	83	12%
町に誇りを持ち、住み続けたいと思うようになる郷土学習の推進	15	12%	26	15%	93	25%	0	0%	134	20%
いじめのない学校づくりや障害を持つ子どもたちへの支援、教育環境の整備	62	49%	94	54%	191	52%	2	50%	349	52%
外国語学習や国際交流など国際的な視野を養う教育の推進	31	25%	24	14%	49	13%	0	0%	104	16%
小学校の適正配置の検討（通学区の見直し、統廃合など）	3	2%	15	9%	29	8%	0	0%	47	7%
児童生徒の登下校などの安全確保	35	28%	33	19%	83	23%	1	25%	152	23%
小・中学校施設の整備や、教育設備の充実	17	14%	19	11%	39	11%	0	0%	75	11%
教育費の支援（助成や貸付制度など）	21	17%	24	14%	45	12%	0	0%	90	13%
その他	3	2%	5	3%	4	1%	0	0%	12	2%
無回答	2	2%	5	3%	23	6%	2	50%	32	5%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



子どもの教育で重要なことについて、回答者全体では「家庭教育の充実」が65%と回答の割合が最も高く、続いて「いじめ防止や障害児への支援等」が52%、「子どもの自信と自尊心などを育む教育」が47%と約半数程度の回答を得ています。

問27 あなたが、町の社会教育や社会体育に望むことは何ですか。（3つまで○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
若者の居場所づくりや交流・イベント	44	35%	52	30%	131	36%	1	25%	228	34%
職業知識や能力を高める学習や地域産業振興のための学習・交流	24	19%	45	26%	104	28%	1	25%	174	26%
パソコン操作やホームページづくりなどのスクール	18	14%	25	15%	47	13%	0	0%	90	13%
趣味やスポーツのクラブ・サークル活動	42	33%	40	23%	77	21%	0	0%	159	24%
郷土芸能や歴史・文化を学ぶためのクラブ・サークル活動	7	6%	11	6%	40	11%	0	0%	58	9%
文化講演会や各種コンサートなどの充実	14	11%	40	23%	59	16%	1	25%	114	17%
競技スポーツ大会などの支援	11	9%	12	7%	38	10%	1	25%	62	9%
健康づくりの教室やウォーキングなどのクラブ・サークル活動	7	6%	29	17%	102	28%	2	50%	140	21%
まちづくりの知識や技術を学ぶためのクラブ・サークル活動	3	2%	13	8%	25	7%	0	0%	41	6%
図書館の整備と学校・公民館図書室の有効活用	56	44%	62	36%	91	25%	0	0%	209	31%
クラブ・サークル活動のための施設の充実	14	11%	17	10%	14	4%	0	0%	45	7%
スポーツ施設（グラウンドや体育館など）の整備充実	30	24%	19	11%	28	8%	1	25%	78	12%
クラブ・サークル活動を推進する住民が中心となったNPO組織づくり	6	5%	14	8%	21	6%	0	0%	41	6%
その他	4	3%	4	2%	9	2%	0	0%	17	3%
無回答	10	8%	14	8%	51	14%	1	25%	76	11%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



社会教育や社会体育に望むことについて、回答者全体では「若者の居場所づくりや交流・イベント」34%、「図書館整備と学校図書室の有効活用」31%と回答の割合が高く、「職業や地域産業振興のための学習・交流」26%、「趣味やスポーツのサークル活動」24%と続いています。

第10章 生活環境について

問28 あなたは、環境にやさしい生活のために次のことを実践していますか。（それぞれ1つに○）

①ごみをきちんと分別する

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	52	41%	104	60%	270	73%	2	50%	428	64%
だいたい行っている(7～9割)	58	46%	56	32%	61	17%	0	0%	175	26%
時々行っている(4～6割)	7	6%	5	3%	10	3%	0	0%	22	3%
あまり行っていない(1～3割)	7	6%	3	2%	7	2%	1	25%	18	3%
全く行っていない	2	2%	2	1%	2	1%	0	0%	6	1%
無回答	0	0%	3	2%	19	5%	1	25%	23	3%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

②ポイ捨てをしない

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	107	85%	137	79%	249	68%	0	0%	493	73%
だいたい行っている(7～9割)	11	9%	17	10%	36	10%	0	0%	64	10%
時々行っている(4～6割)	2	2%	5	3%	5	1%	0	0%	12	2%
あまり行っていない(1～3割)	2	2%	4	2%	7	2%	1	25%	14	2%
全く行っていない	4	3%	5	3%	45	12%	1	25%	55	8%
無回答	0	0%	5	3%	27	7%	2	50%	34	5%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

③暖房は20度以下に設定している（冷房の場合は28度以上）

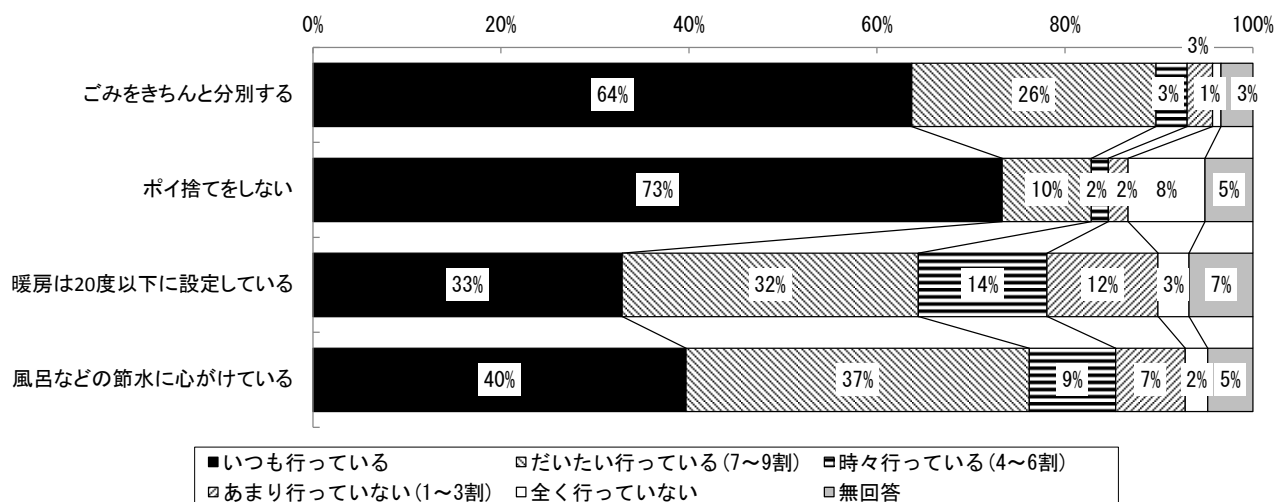
	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	26	21%	59	34%	136	37%	0	0%	221	33%
だいたい行っている(7～9割)	35	28%	60	35%	115	31%	2	50%	212	32%
時々行っている(4～6割)	30	24%	24	14%	38	10%	0	0%	92	14%
あまり行っていない(1～3割)	28	22%	17	10%	34	9%	0	0%	79	12%
全く行っていない	6	5%	7	4%	8	2%	1	25%	22	3%
無回答	1	1%	6	4%	38	10%	1	25%	46	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

④風呂などの節水に心がけている

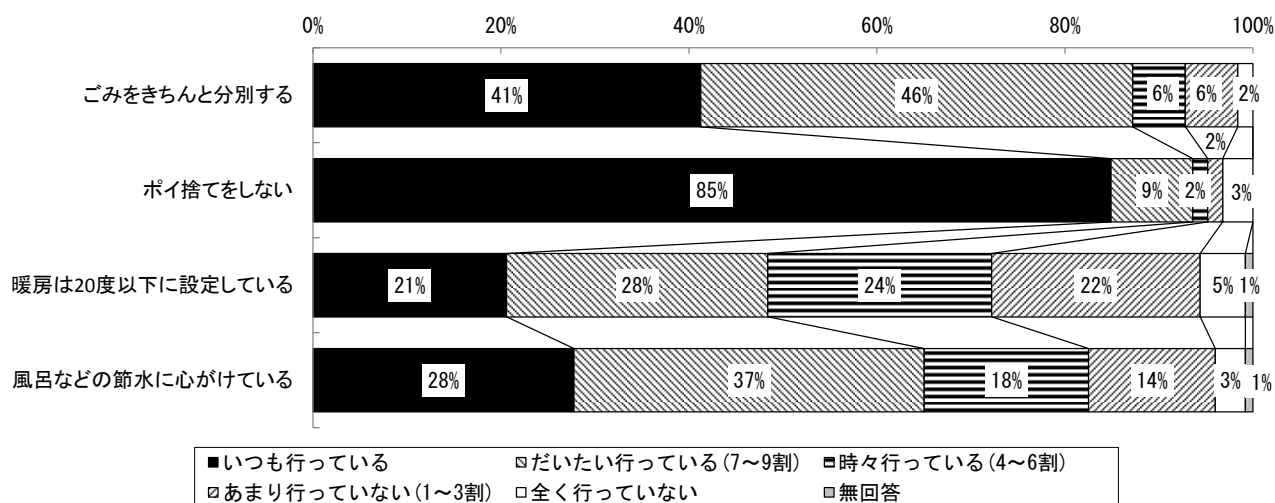
	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	35	28%	60	35%	170	46%	2	50%	267	40%
だいたい行っている(7～9割)	47	37%	72	42%	126	34%	0	0%	245	37%
時々行っている(4～6割)	22	18%	19	11%	21	6%	0	0%	62	9%
あまり行っていない(1～3割)	17	14%	11	6%	21	6%	1	25%	50	7%
全く行っていない	4	3%	7	4%	5	1%	0	0%	16	2%
無回答	1	1%	4	2%	26	7%	1	25%	32	5%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

生活環境について

【回答者全体】



【10~39歳】



生活環境についての5項目を5段階評定でたずねたところ、回答者全体では「ごみをきちんと分別する」において「いつも行っている」が64%、「だいたい行っている」が26%となっており、合わせて9割を占めています。「10~39歳」においても「いつも行っている」「だいたい行っている」を合わせると9割近くとなっています。また「ポイ捨てをしない」において、回答者全体では「いつも行っている」が73%に対し、「10~39歳」の当該回答が85%と、10ポイント以上も高くなっています。

第11章 防災について

問29 あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。（それぞれ1つに○）

①防災備品の準備（懐中電灯、消火器、救急箱、非常用持出し袋など）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	7	6%	14	8%	57	15%	2	50%	80	12%
行っている	20	16%	42	24%	94	26%	0	0%	156	23%
あまり行っていない	64	51%	80	46%	157	43%	1	25%	302	45%
全く行っていない	33	26%	32	19%	38	10%	0	0%	103	15%
無回答	2	2%	5	3%	23	6%	1	25%	31	5%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

②家具の転倒防止策

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	3	2%	4	2%	14	4%	1	25%	22	3%
行っている	11	9%	33	19%	59	16%	0	0%	103	15%
あまり行っていない	59	47%	75	43%	167	45%	1	25%	302	45%
全く行っていない	51	41%	56	32%	92	25%	0	0%	199	30%
無回答	2	2%	5	3%	37	10%	2	50%	46	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

③被災時の家族との連絡方法の確認

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	12	10%	14	8%	28	8%	2	50%	56	8%
行っている	20	16%	47	27%	108	29%	1	25%	176	26%
あまり行っていない	53	42%	59	34%	133	36%	0	0%	245	37%
全く行っていない	39	31%	45	26%	60	16%	0	0%	144	21%
無回答	2	2%	8	5%	40	11%	1	25%	51	8%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

④防災訓練への参加

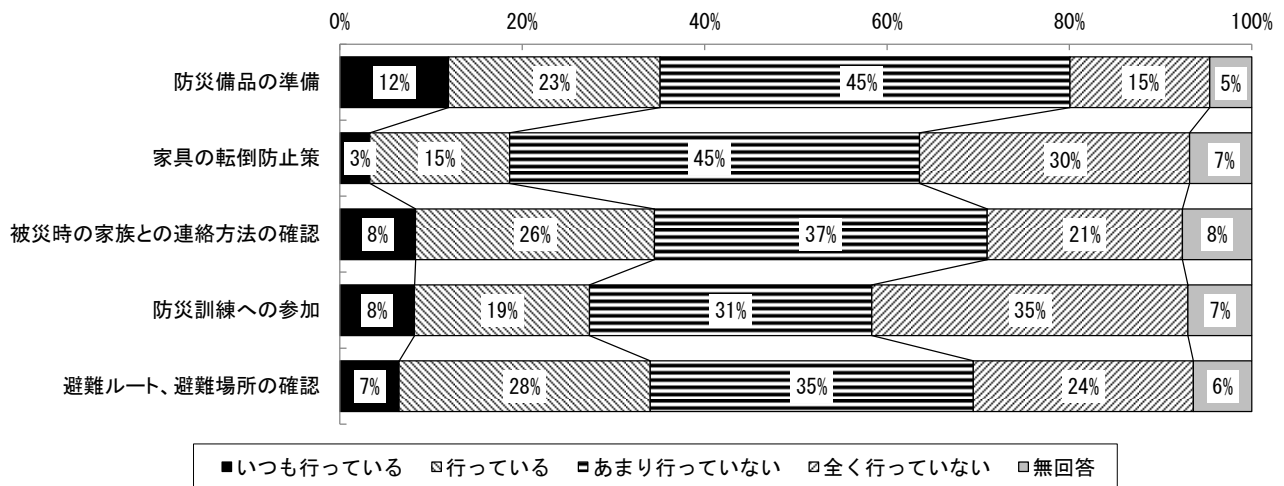
	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	1	1%	16	9%	37	10%	1	25%	55	8%
行っている	9	7%	43	25%	77	21%	0	0%	129	19%
あまり行っていない	51	41%	50	29%	106	29%	1	25%	208	31%
全く行っていない	63	50%	60	35%	110	30%	0	0%	233	35%
無回答	2	2%	4	2%	39	11%	2	50%	47	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

⑤避難ルート、避難場所の確認

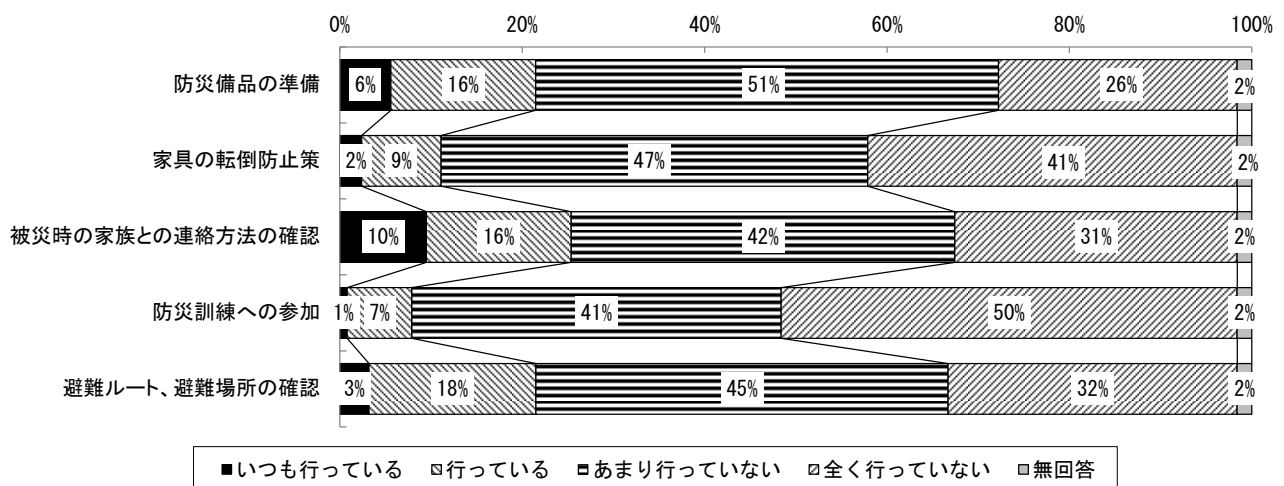
	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いつも行っている	4	3%	13	8%	26	7%	1	25%	44	7%
行っている	23	18%	54	31%	108	29%	0	0%	185	28%
あまり行っていない	57	45%	60	35%	119	32%	2	50%	238	35%
全く行っていない	40	32%	42	24%	80	22%	0	0%	162	24%
無回答	2	2%	4	2%	36	10%	1	25%	43	6%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

災害への備え

【回答者全体】



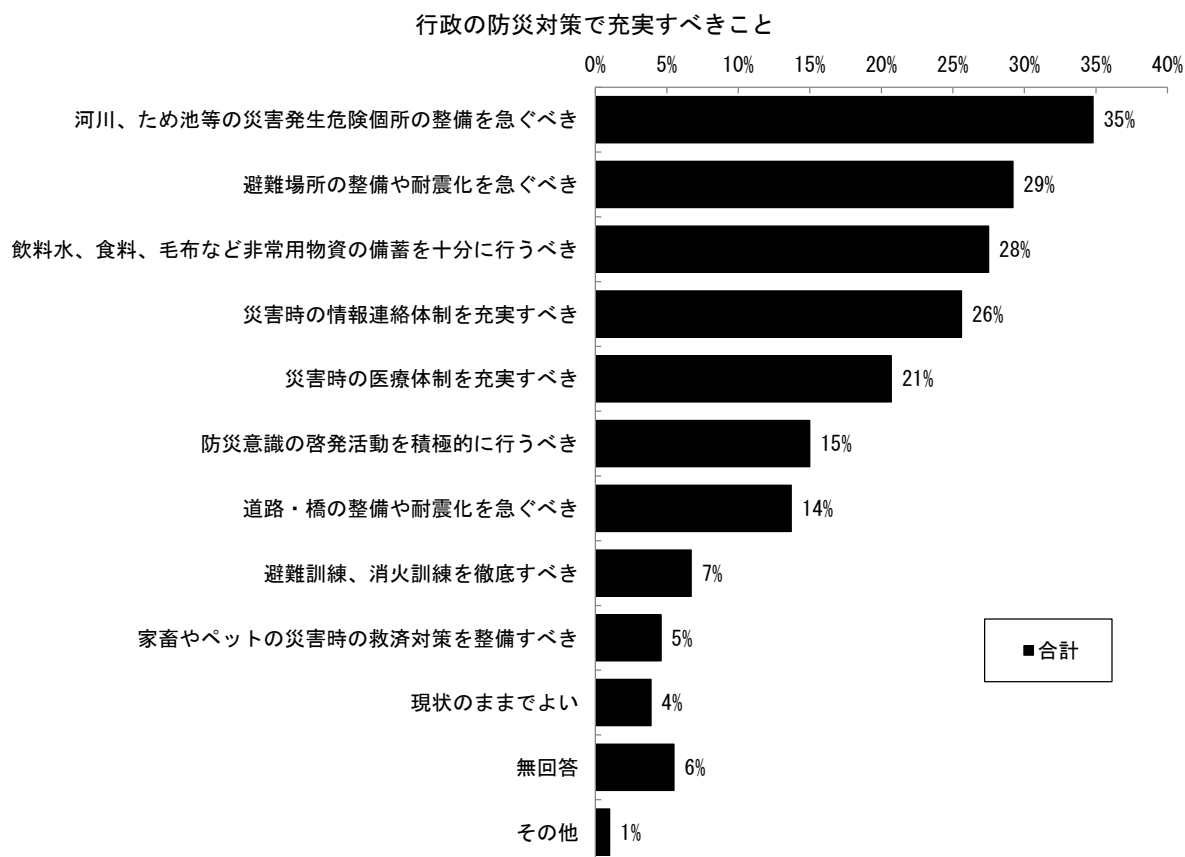
【10～39歳】



災害への備えについての5項目を4段階評定でたずねたところ、「防災備品の準備」について、回答者全体では「あまり行っていない」45%、「全く行っていない」15%と、両者を合計すると6割を占めています。さらに10～39歳においては、「あまり行っていない」51%、「全く行っていない」26%と、両者合わせて8割近くまで達しています。また、防災訓練への参加について、10～39歳では「いつも行っている」が1%、「行っている」が7%となっており、両者を合わせても1割を満たしておらず、「あまり行っていない」「全く行っていない」を大きく下回っています。

問30 防災対策について、行政では何をもっと充実すべきだと思いますか。（主なものを2つまでに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
避難場所の整備や耐震化を急ぐべき	36	29%	57	33%	102	28%	1	25%	196	29%
道路・橋の整備や耐震化を急ぐべき	25	20%	22	13%	44	12%	1	25%	92	14%
河川、ため池等の災害発生危険個所の整備を急ぐべき	44	35%	67	39%	123	33%	0	0%	234	35%
避難訓練、消火訓練を徹底すべき	4	3%	8	5%	33	9%	0	0%	45	7%
災害時の情報連絡体制を充実すべき	25	20%	39	23%	108	29%	0	0%	172	26%
飲料水、食料、毛布など非常用物資の備蓄を十分に行うべき	50	40%	51	30%	81	22%	3	75%	185	28%
防災意識の啓発活動を積極的に行うべき	15	12%	28	16%	58	16%	0	0%	101	15%
災害時の医療体制を充実すべき	28	22%	31	18%	80	22%	0	0%	139	21%
家畜やペットの災害時の救済対策を整備すべき	14	11%	8	5%	9	2%	0	0%	31	5%
現状のままでよい	3	2%	4	2%	18	5%	1	25%	26	4%
その他	1	1%	3	2%	3	1%	0	0%	7	1%
無回答	2	2%	7	4%	27	7%	1	25%	37	6%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%



行政の防災対策で充実すべきことについて、回答者全体では「河川、ため池等の災害発生危険個所の整備を急ぐべき」が35%で回答割合が最も高く、「避難場所の整備や耐震化を急ぐべき」が29%、「飲料水、食料、毛布など非常用物資の備蓄を十分に行うべき」が28%と続いています。

第12章 町政について

問31 あなたは、子どもや若者、女性、高齢者などの意見が町の政策に反映されていると思いますか。
(それぞれ1つに○)

① 子どもの意見

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分反映されている	0	0%	0	0%	8	2%	1	25%	9	1%
ある程度反映されている	10	8%	11	6%	49	13%	0	0%	70	10%
あまり反映されていない	27	21%	55	32%	62	17%	0	0%	144	21%
全く反映されていない	18	14%	27	16%	20	5%	0	0%	65	10%
わからない	69	55%	76	44%	179	49%	1	25%	325	48%
無回答	2	2%	4	2%	51	14%	2	50%	59	9%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

② 若者の意見

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分反映されている	0	0%	0	0%	5	1%	0	0%	5	1%
ある程度反映されている	10	8%	14	8%	59	16%	1	25%	84	13%
あまり反映されていない	34	27%	62	36%	73	20%	0	0%	169	25%
全く反映されていない	20	16%	19	11%	16	4%	0	0%	55	8%
わからない	60	48%	74	43%	162	44%	1	25%	297	44%
無回答	2	2%	4	2%	54	15%	2	50%	62	9%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

③ 中年・熟年の意見

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分反映されている	3	2%	3	2%	7	2%	0	0%	13	2%
ある程度反映されている	25	20%	47	27%	71	19%	0	0%	143	21%
あまり反映されていない	21	17%	37	21%	71	19%	1	25%	130	19%
全く反映されていない	6	5%	17	10%	15	4%	0	0%	38	6%
わからない	69	55%	65	38%	151	41%	1	25%	286	43%
無回答	2	2%	4	2%	54	15%	2	50%	62	9%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

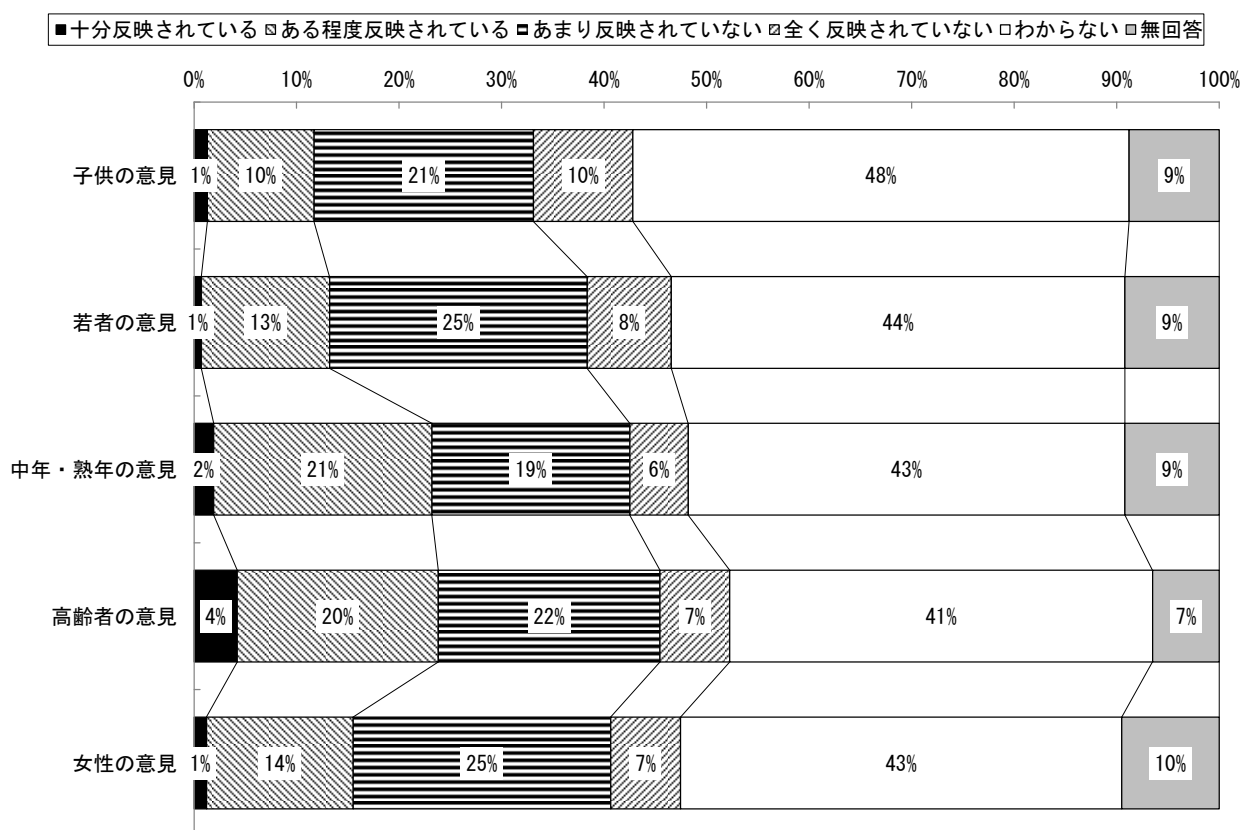
④ 高齢者の意見

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分反映されている	2	2%	9	5%	17	5%	0	0%	28	4%
ある程度反映されている	27	21%	34	20%	70	19%	1	25%	132	20%
あまり反映されていない	20	16%	39	23%	85	23%	1	25%	145	22%
全く反映されていない	7	6%	17	10%	21	6%	1	25%	46	7%
わからない	68	54%	70	41%	139	38%	0	0%	277	41%
無回答	2	2%	4	2%	37	10%	1	25%	44	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

⑤ 女性の意見

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分反映されている	0	0%	0	0%	8	2%	0	0%	8	1%
ある程度反映されている	16	13%	20	12%	60	16%	0	0%	96	14%
あまり反映されていない	29	23%	56	32%	82	22%	2	50%	169	25%
全く反映されていない	11	9%	18	10%	17	5%	0	0%	46	7%
わからない	68	54%	74	43%	147	40%	0	0%	289	43%
無回答	2	2%	5	3%	55	15%	2	50%	64	10%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

政策への意見の反映

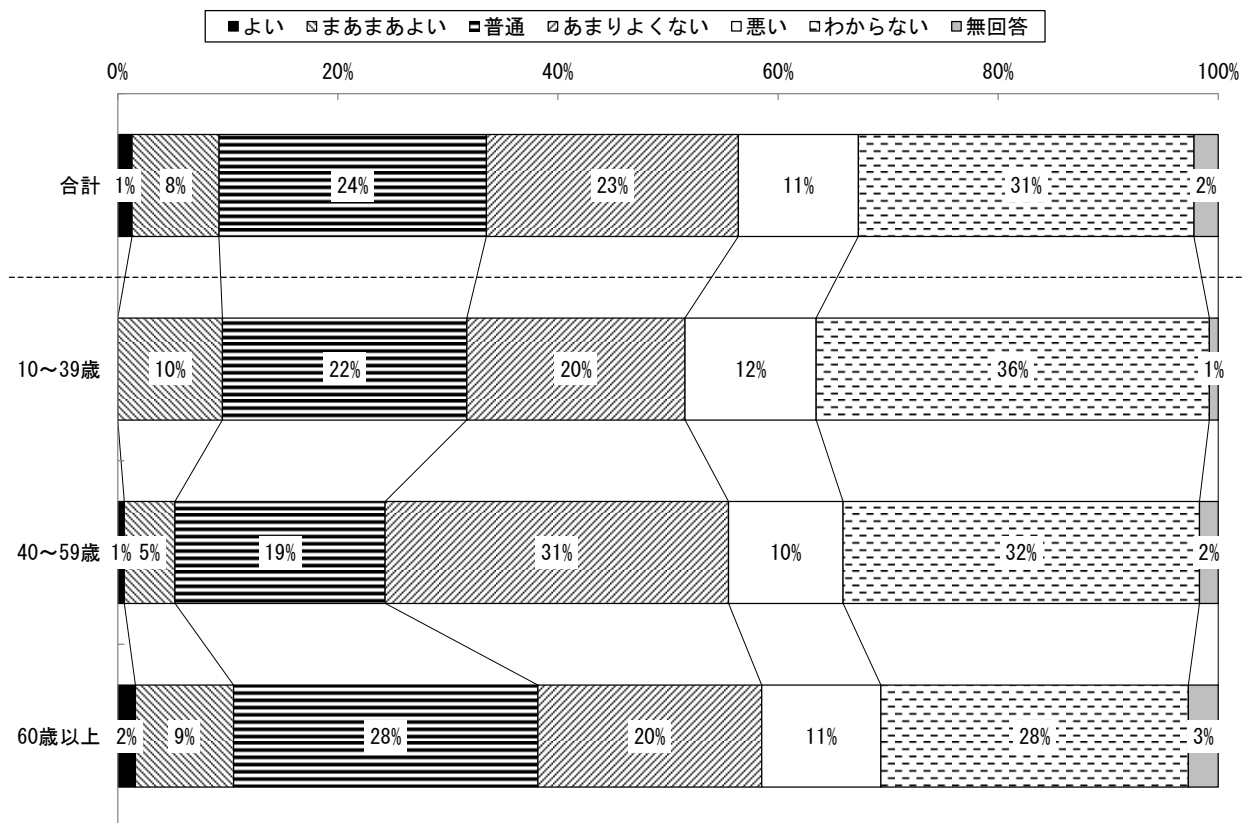


政策への意見の反映について4段階評価形式でたずねたところ、回答者全体では「十分反映されている」「ある程度反映されている」の両者を合わせた肯定的評価が、「高齢者の意見」で24%、「中年・熟年の意見」で23%となっています。一方で、「あまり反映されていない」「全く反映されていない」の両者を合わせた否定的評価が、「高齢者の意見」で29%、「中年・熟年の意見」で25%と、それぞれ肯定的評価をやや上回っています。

問32 町の財政状況について、どのようにお考えでしょうか。（1つに○）

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
よい	0	0%	1	1%	6	2%	2	50%	9	1%
まあまあよい	12	10%	8	5%	33	9%	0	0%	53	8%
普通	28	22%	33	19%	102	28%	0	0%	163	24%
あまりよくない	25	20%	54	31%	75	20%	0	0%	154	23%
悪い	15	12%	18	10%	40	11%	0	0%	73	11%
わからない	45	36%	56	32%	103	28%	1	25%	205	31%
無回答	1	1%	3	2%	10	3%	1	25%	15	2%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

町の財政状況



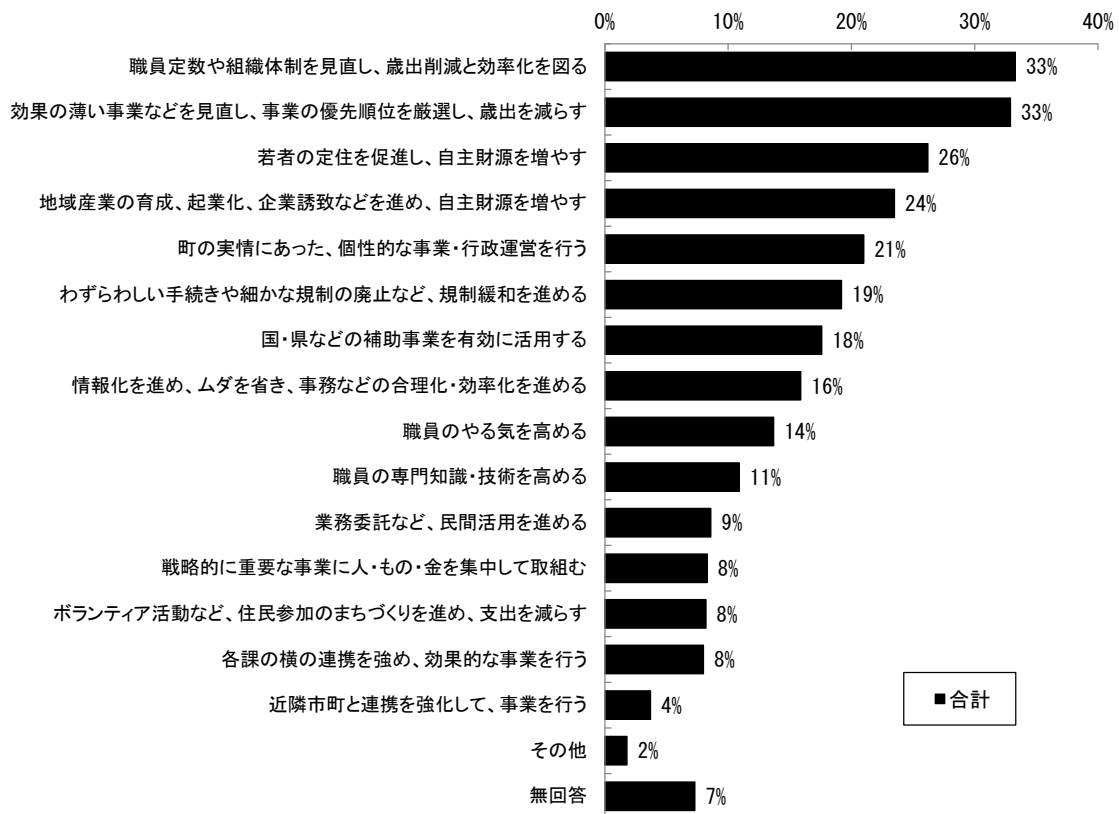
町の財政状況について5段階評価形式でたずねたところ、回答者全体では「よい」「まあまあよい」が、それぞれ1%、8%となっています。一方で、「あまりよくない」「悪い」は、それぞれ23%、11%と、両者を合わせると3割を超過し、「よい」「まあまあよい」の合計9%を上回っています。

問33 行政改革・財政改革のために、以下のどの項目が重要だとお考えでしょうか

(3つまで○)

	10～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
効果の薄い事業などを見直し、事業の優先順位を厳選し、歳出を減らす	58	46%	51	30%	112	30%	0	0%	221	33%
戦略的に重要な事業に人・もの・金を集中して取組み、行政効果をあげる	11	9%	21	12%	24	7%	0	0%	56	8%
地域産業の育成、起業化、企業誘致などを進め、自主財源を増やす	18	14%	46	27%	94	26%	0	0%	158	24%
若者の定住を促進し、自主財源を増やす	35	28%	51	30%	88	24%	2	50%	176	26%
国・県などの補助事業を有効に活用する	14	11%	24	14%	80	22%	0	0%	118	18%
業務委託など、民間活用を進める	9	7%	18	10%	30	8%	1	25%	58	9%
わずらわしい手続きや細かな規制の廃止など、規制緩和を進める	25	20%	25	15%	78	21%	1	25%	129	19%
情報化を進め、ムダを省き、事務などの合理化・効率化を進める	18	14%	33	19%	56	15%	0	0%	107	16%
町の実情にあった、個性的な事業・行政運営を行う	31	25%	41	24%	72	20%	0	0%	144	21%
職員のやる気を高める	17	14%	28	16%	46	13%	1	25%	92	14%
職員の専門知識・技術を高める	14	11%	17	10%	42	11%	0	0%	73	11%
職員定数や組織体制を見直し、歳出削減と効率化を図る	33	26%	56	32%	134	36%	1	25%	224	33%
各課の横の連携を強め、効果的な事業を行う	7	6%	20	12%	27	7%	0	0%	54	8%
ボランティア活動など、住民参加のまちづくりを進め、支出を減らす	11	9%	8	5%	35	10%	1	25%	55	8%
近隣市町と連携を強化して、事業を行う	7	6%	10	6%	8	2%	0	0%	25	4%
その他	3	2%	5	3%	4	1%	0	0%	12	2%
無回答	7	6%	5	3%	35	10%	2	50%	49	7%
合計	126	100%	173	100%	369	100%	4	100%	672	100%

行政改革・財政改革のために重要な施策



行政改革・財政改革のために重要な施策について、回答者全体で最も回答割合の高かった施策は「効果の薄い事業などを見直し、事業の優先順位を厳選し、歳出を減らす」、「職員定数や組織体制を見直し、歳出削減と効率化を図る」で、ともに33%となっています。それに続いて、「若者の定住を促進し、自主財源を増やす」26%、「地域産業の育成、起業化、企業誘致などを進め、自主財源を増やす」24%となっています。

第3編 自由意見

問34 最後に町政について、ご自由にご意見やご提案をご記入ください。（記載自由）

144名から回答がありました。主な意見は以下の通りです。

1 行財政運営・住民と行政の協働に関すること

- ◇ ホームページももう少し充実化して、若者にはスマートフォンなどで情報を発信すべきです。【女・40～59歳・旧満濃地区】
- ◇ 住民税をもっと安く！！ 【男・10～39歳・旧琴南地区】
- ◇ 夜間窓口業務時もオンライン停止にしない。【男・40～59歳・旧仲南地区】
- ◇ まだ合併によるメリットはあまりない。一本化にはほど遠い感じ。まずは議員さんや職員の意識改革が求められるのでは。【男・60歳以上・旧満濃地区】
- ◇ ①議員定数の削減と歳費の削減。②職員の給料削減と定員の削減。③効率の良い予算編成。【男・60歳以上・旧満濃地区】
- ◇ 議会を中讃テレビで放映してほしい。【男・60歳以上・旧満濃地区】
- ◇ 国や県あるいは町民からの指示待ち行政ではなく、町民に対し何ができるか、町民のために何をやるべきかが考えの基本にならない。【男・60歳以上・旧満濃地区】
- ◇ 資源ゴミの収益金のうち、少しぐらいの金額は地元の自治会へ還元するべきであると考えます。【男・40～59歳・旧満濃地区】
- ◇ もっと町長、議員が琴南、仲南に足を運んで住民とふれあい、意見等を聞かなきゃいけない。【男・10～39歳・旧琴南地区】

2 産業振興・まちの活性化に関すること

- ◆ 休耕田の活用（メガソーラーの誘致等）。【男・40～59歳・旧満濃地区】
- ◆ 町独自の特産物（農産物等）を見い出し、ブランド化を計り、全国的にPRをするのも1つの方法と考える（例えば羽間で有名な無花果等）。町の6割をしめる山林を有する本町としては、徳島県の上勝町の様な色どり農産物を考えても今からでも遅くはないと思う。【男・40～59歳・旧満濃地区】
- ◆ 合併前のように、農林業振興に力を入れて下さい。このままでは限界集落ができ荒れ放題になり、イノシシ、サル等が大変多くなり、被害が出てくるのではないかと。【男・60歳以上・旧満濃地区】

- ◆ カリン温泉の後、どのような町づくりを目覚めているのかよく分からない。【男・40～59歳・旧満濃地区】
- ◆ もっと町内の行事（交流）を増やしたらいいと思う。【女・10～39歳・旧満濃地区】
- ◆ 男、女の出合いの場を設ける（婚活）。【男・10～39歳・旧満濃地区】
- ◆ もっと満濃池や満濃公園、キャンプ場、温泉などをPRして人が来るようにできないだろうか。また、11月末でもひまわりが咲いていた（仲南の線路沿い）ことなどもおもしろいと思う。【男・10～39歳・旧満濃地区】
- ◆ 土器川（県唯一の一級河川）の活用。上流・源流の町として、川の駅を設置したり、淡水魚の水族館を建設する。【男・60歳以上・旧琴南地区】
- ◆ 町の活性化には、地域性を生かして体験を取り入れたレジャーとか、グリーンツーリズムのような、迎える方も訪れる方も元気が出る事業を考えたらよいのではないかなと思う。【女・40～59歳・旧仲南地区】
- ◆ 琴南地区は少子高齢化に伴い、自治会組織の消滅が懸念される所もあります。そして男性の40才～50才の独身者が多く、又その方達と同居しているのが高齢者である。嫁とり対策というか、その町をどうしたら活性化するか、人口の減少に不安はつもの。集団見合なんか？【女・60歳以上・旧琴南地区】
- ◆ 他の市町の取組であったのですが、町内の農産物のインターネット販売をフェイスブックを通じて、町が手数料無料で行う所があったと思います。売上が上がれば、町への税収が増えるので手数料は無料との事でした。町HPもフェイスブックを利用する事で、経費が相当安価になると思います。【男・40～59歳・旧満濃地区】
- ◆ 震災等や自然の中で豊かに暮らしたいと居住を希望する人に、今無駄にしている空家や休耕田を町が買い取り、希望者に提供するといい。外から入った人はその土地の良さを残し、より良いものにしたいという想いが強い。大きな会社ではなく、文化、アートを中心とした個人起業者への支援や援助が充実すると、まんのうは他にないモデル的町へ変わると思っています。がんばって下さい。たくさんの人が望んでいます。【女・10～39歳・旧琴南地区】

3 医療・福祉に関すること

- ▽ 肺炎球菌ワクチンの予防接種、60才以上の無料接種はやりすぎです。【女・40～59歳・旧琴南地区】
- ▽ 民生委員の動きが悪い（人員の変更又は指導）。【男・60歳以上・旧仲南地区】

- ▽ 町民の健康管理の充実を具体的に研究して、健康長寿の「まんのう町」に向けて、町政を進めて欲しい。町民が心身共に健康でなければ町政も健全になれないと考える。町民健康推進の「プロジェクトチーム」をつくっても良い。とにかく「国民健康保険料」や「住民税」が高すぎる。何とかして欲しい。【男・60歳以上・旧仲南地区】
- ▽ 子どもの保育で一時保育は「いろは」だけ。自分で申しこみをしたが断られた。実質、母親の育児の負担がおおきく、自分が病院に行くのも大変。他市では一時保育も役所が管理し、月9日以内ならリフレッシュ的な理由でも利用できる。育児が母親まかせの今、少しでも保育園を一時的に使いたい。【女・10～39歳・旧満濃地区】
- ▽ 各地に町営のケアハウスを作って独居老人の世話と介護予防の拠点を作ってほしい。【男・40～59歳・旧仲南地区】
- ▽ 介護保険料が高い。町内の老人ホームは他の市や町の人が多く入っていて、町民は入れない。この状況をなんとかしてほしい。【男・60歳以上・旧満濃地区】
- ▽ 町の敬老会準備に町職員がリーダーになり、地区の人の協力を願うこと。町がリードすべきだ。【男・60歳以上・旧満濃地区】

4 教育に関すること

- ▼ もっと本と触れ合う機会を増やすため、大きい図書館が欲しい。【女・10～39歳・旧仲南地区】
- ▼ 図書館が出来るとのこと。平日でも夜に行ける時間帯まで開いてほしい。【女・40～59歳・旧満濃地区】
- ▼ 琴南中学校の廃止【男・60歳以上・旧琴南地区】
- ▼ 学校にクーラーを設置してほしい。【女・40～59歳・旧仲南地区】
- ▼ 長炭小学校の耐震対策で補強しているが、校舎自体が古いので建て直しをしてほしかった。【男・10～39歳・旧満濃地区】
- ▼ 小中学校の統合により、交通の便で自転車や徒歩で通学する学生が増加しているので、道路の拡大や歩道の設置等を行い、通学時に保護者等が心配しないでもいい町政を行って欲しい。【男・10～39歳・旧琴南地区】
- ▼ 祖父母学級をひらいてみてはいかがでしょうか？ そうすると、母親の社会復帰もしやすくなると思います。【女・10～39歳・旧満濃地区】
- ▼ まんのう町は厳しい財政の中、教育にはお金をかけている。子どもづくりへの投資を行っていると思う。他の市町村と比べると、それがよく分かるが、町民にはあまり理解しても

らえていないと思う。そこをもう少しアピールし、子育てしやすい町のイメージを広めるべきだと思う。また、教育の町として、図書館の新設に期待している。町民ホール、旧校舎などを利用した文化的なイベントや講演を行うとよいと思う。【女・40～59歳・旧満濃地区】

5 生活環境に関すること

- △ ゴミの回収日が週に1回というのが非常に不便です。特に季節、新生児を持つ家庭としては酷です。【男・10～39歳・旧満濃地区】
- △ 資源ゴミの当番は朝早くから午前中にわたるため、私も含め、高齢者の方だと前夜眠れない（責任感が強くて）とか、仕事を持つ方は半休をとるなど、住民には大変負担になっているので、ぜひ改善してほしいです。【女・40～59歳・旧満濃地区】
- △ 他の町や市と比べて、防災訓練が熱心でないと思います。【女・60歳以上・旧琴南地区】
- △ 造田免に火災時の消火機材が一つもない（住民戸数約150戸）。【男・60歳以上・旧琴南地区】
- △ 女性防火クラブは税金のムダ使いだと思う。【女・60歳以上・旧満濃地区】
- △ ヘリポートの整備。ヘリポートから各避難場所へと進入する道路の確保。【男・40～59歳・旧満濃地区】
- △ 土器川の川底が浅くなっている。期間を限定して昔のように砂利、砂等（洪水対策）の採取を業者に認可して取らせたらどうか！【男・60歳以上・旧満濃地区】
- △ 道路は良くなっているが、有効に使用されていない。舗装し、幅を広げているが、車が入れない様にして使用されていない。なんの為に道幅を広げているのか。【男・60歳以上・旧満濃地区】
- △ 各町内の交差点に監視カメラを設置して、不法投棄等を監視し、必要であれば警察に通報するシステム。【女・60歳以上・旧琴南地区】
- △ まんのう池周辺が夜になると暗く、街灯が少ない。危ない。【女・10～39歳・旧仲南地区】
- △ カラスの被害が農家や買い物袋を持った人に多いような気がします。対策や情報の公開などしていただきたいと思います。【女・10～39歳・旧満濃地区】
- △ 近頃、猿の大群が来て農作物を荒らされて困っています。【無回答・60歳以上・旧琴南地区】
- △ 自然エネルギーによる電源設置、それに対する補助。【男・60歳以上・旧仲南地区】

まんのう町後期基本計画 策定のための住民アンケート

ご協力をお願い

皆様には、日ごろから町行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成18年3月20日に琴南町、満濃町、仲南町の3町が合併し「まんのう町」が誕生して約6年が経ちました。

まんのう町では、平成20年3月に、町政の基本となる総合計画を策定し、10年後の将来像を「元気まんまん まんのう町ー改革と協働、輝きのまちー」と定めてまちづくりを進めてまいりました。

この総合計画は、10年間の長期展望を描く基本構想と、5年ごとに分野別施策を掲げる基本計画、毎年度の事業を記す実施計画に分かれますが、このうち、今年度において後期基本計画を策定いたします。

そのため、その後期基本計画の策定にあたり、1,500人（18歳以上）の方を対象とした住民アンケート調査を実施して、皆様のご意見をお聞きし、計画に反映していきたいと考えております。

アンケートは無記名で行い、すべてコンピュータにより統計的に処理し、他の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

東日本大震災などにより、社会動向が大きく変化している中で、最新の住民ニーズを把握させていただく貴重な機会と考えておりますので、ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年6月

まんのう町 町長 栗田隆義

*** ご記入にあたって ***

1. 必ず調査対象として選ばれたご本人がお答えください。
2. お答えの方法は、設問ごとに「1つ選んで○」、「2つ選んで○」などそれぞれ指定されていますのでご注意ください。
3. ○印は番号を囲むように濃くつけてください。
4. ご記入は、ボールペンか鉛筆などでご記入下さい。
5. ご記入いただいた調査票は、同封の封筒に入れ、

7月17日（火） までに

ポストに投かんしてください（切手はいりません）。

6. この調査票についてのお問い合わせは下記へお願いします。

＜お問い合わせ先＞ まんのう町役場 企画政策課

TEL：73－0106 FAX：73－0112

E-MAIL kikaku@town.manno.lg.jp

まんのう町後期基本計画住民アンケート調査票

1. あなた自身（回答する方）のことについて

問1 性別 (1つに○)

1 男	2 女
-----	-----

問2 年齢 (1つに○)

1 10・20歳代	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代
5 60歳代	6 70歳代	7 80歳以上	

問3 居住地（地区名でお答え下さい） (1つに○)

1 美合地区	2 造田地区	3 長炭地区	4 吉野地区	5 神野地区
6 四條地区	7 高篠地区	8 七箇地区	9 十郷地区	

問4 居住歴 (1つに○)

1 町で生まれて、ずっと住んでいる	2 いったん町を出て、帰ってきた
3 町外（県内）の生まれである	4 県外の生まれである

問5 職業（産業分野） (1つに○)

1 農林業	2 製造業	3 建設業	4 商業・サービス業
5 公務員等	6 家事（主婦など）	7 無職・学生	8 その他

問6 主な就業地・生活地 (1つに○)

1 町内	2 高松市	3 丸亀市	4 善通寺市	5 琴平町	6 その他
------	-------	-------	--------	-------	-------

問7 家族型 (1つに○)

1 単身	2 夫婦のみ	3 親と子	4 3世代（親と子と孫）
5 その他（兄弟など）	6 寮、施設		

2. 町全体に関わる満足度について

問8 まんのう町はあなたにとって住みよい町ですか。 (1つに○)

1 とても住みよい	2 どちらかといえば住みよい	3 どちらとも言えない
4 どちらかといえば住みにくい	5 住みにくい	

問9 あなたは、まんのう町に愛着を感じていますか。 (1つに○)

1 とても愛着がある	2 まあ愛着を感じている	3 どちらとも言えない
4 あまり愛着はない	5 愛着は感じていない	

問10 あなたは、これからもまんのう町に住み続けたいですか。 (1つに○)

1 住み続けたい	2 いずれ、町外へ出たい
3 一度町を出て、帰ってきたい	4 まだわからない

問11・12 次の項目について、どの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。各項目について、それぞれ1～4の番号に1つだけ○をつけてください。

[記入例]

1	2	3	4	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---

項 目		問11 満足度				問12 重要度			
		満 足	普 通	不 満	わ か ら な い	重 要	普 通	重 要 で な い	わ か ら な い
利 便 性	(1) 鉄道、バスなどが利用しやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(2) 道路が便利である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(3) 食品や日用品の買い物がしやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(4) 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(5) 雇用の機会が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(6) 情報通信網が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4

快 適 性	(7) 自然が豊かで潤いがある	1	2	3	4	1	2	3	4
	(8) 町の景観や家並みなどが美しい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(9) 住宅や宅地が取得しやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(10) 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	1	2	3	4	1	2	3	4
	(11) 半日～1日過ごせる遊び場や居場所がある	1	2	3	4	1	2	3	4
	(12) 上水道の整備が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	(13) 下水道などの排水対策が進んでいる	1	2	3	4	1	2	3	4
	(14) ごみの収集や資源回収体制が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(15) 騒音・悪臭・振動等の公害防止体制が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4

安 全 性	(16) 交通安全対策が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(17) 消防団など消防・救急体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(18) 水害、土砂災害、地震などの防災対策が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(19) 街路灯など、防犯の面で安心である	1	2	3	4	1	2	3	4

保 健 ・ 福 祉	(20) 住民検診や健康指導が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(21) 診療所や病院など医療機関が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(22) 保育所など子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(23) 高齢者や障害者の在宅サービスが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(24) 高齢者や障害者のための施設が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(25) 高齢者の生きがい対策が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4

教 育 ・ 文 化	(26) わかる授業など、教育内容が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(27) 小・中学校の施設・設備や教育内容が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(28) 子どもから高齢者まで、生涯学習活動が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(29) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(30) 文化施設や各種文化鑑賞機会などが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(31) 娯楽(喫茶、飲食含む)やレジャーの環境が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
	(32) 歴史や伝統が大切にされている	1	2	3	4	1	2	3	4

項 目		問11 満足度				問12 重要度			
		満足	普通	不満	わからない	重要	普通	重要でない	わからない
地域生活	(33) ご近所との付き合いが活発である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(34) 自治会活動などが活発である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(35) 各種公共施設が利用しやすい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(36) まちづくりへの参加機会が多い	1	2	3	4	1	2	3	4
	(37) 広報やホームページ、情報公開が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(38) 祭りやイベントが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
	(39) 町のイメージがいい	1	2	3	4	1	2	3	4
	(40) ボランティア活動が活発である	1	2	3	4	1	2	3	4
	(41) 国内の他地域との交流が盛んである	1	2	3	4	1	2	3	4

問13 琴南町、満濃町、仲南町の3町合併についてお聞きします。合併して、よかったと思うことはどんなことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 公共施設等が利用しやすくなった 2 地域のイメージアップが図られた 3 合併相手先の地域との交流が増えた 4 行政サービスの充実が図られた 5 住民参画による新たなまちづくりが進んだ 6 町の財政状況が改善された 7 公共料金など住民の負担が軽くなった 8 その他（ ） 9 特にない 10 合併前を知らない

問14 逆に、合併して、よくなかったと思うことはどんなことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 地域としての一体性が失われた 2 合併のメリットがなかった 3 中心部だけがよくなり周辺部が取り残されている 4 公共料金などの住民負担が重くなった 5 きめ細かな行政サービスが受けられなくなった 6 役場までの距離が遠くなった 7 町の財政状況が悪くなった 8 その他（ ） 9 特にない 10 合併前を知らない
--

3. まちづくりの方向について

問15 あなたは、将来のまんのう町がどんな町になって欲しいですか。（1つに○）

- | | |
|---|--|
| 1 | 住民活動や交流が活発な、行財政の健全な、自治自立の町 |
| 2 | 教育が充実し、生涯学習やスポーツ活動の盛んな、心ゆたかな町 |
| 3 | 農林業や商工業・観光が活発な、活力のある町 |
| 4 | 保健医療・福祉サービスが充実した、安心して暮らせる町 |
| 5 | 自然・田園豊かな、住宅・公園や上下水道などが整備された、潤いのある住みよい町 |
| 6 | 道路・交通が整備され、防災・防犯体制などが整った、便利で安全な町 |
| 7 | その他（ ） |

問16 今後のまんのう町のまちづくりの基本方針について、次のそれぞれ2つの正反対の考え方では、あなたはどちらを選ばれますか。（それぞれ1つに○）

- | | | | | | | | |
|---|----------------------|---|---------|---|----------|---|-------|
| ① | 開発か、自然環境の保全か----- | 1 | 開発----- | 2 | 保全----- | 3 | わからない |
| ② | 産業重視か、生活・文化重視か-- | 1 | 産業重視-- | 2 | 生活重視--- | 3 | わからない |
| ③ | 施設(ハード)か、活動内容(ソフト)か- | 1 | 施設重視-- | 2 | 活動重視--- | 3 | わからない |
| ④ | 個性的なまちか、平均的なまちか | 1 | 個性的---- | 2 | 平均的---- | 3 | わからない |
| ⑤ | 重点的な取組か、バランス重視か | 1 | 重点的---- | 2 | バランス重視-- | 3 | わからない |
| ⑥ | 行政主導の取組みか、町民主導か | 1 | 行政主導-- | 2 | 町民主導--- | 3 | わからない |

4. 産業振興について

問17 産業の活性化のために、どのような取組が必要でしょうか。（3つまで○）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 道の駅・直売所を核とした「まんのうブランド商品」の開発と販売 |
| 2 | うどん祭りやうどん名人による体験会など、日本一の「讃岐うどん」のまちづくり |
| 3 | 温泉健康のまちづくり（温泉健康インストラクターの育成、リハビリなど） |
| 4 | 農業体験や民泊など、田舎感動体験（グリーンツーリズム）のまちづくり |
| 5 | 県や大学などと連携した、町内企業の新商品開発、新規事業進出などの支援 |
| 6 | 若者や女性、Uターン者などの起業（新会社づくり）の支援 |
| 7 | 町のイメージアップによる、空校舎などを活かした企業誘致 |
| 8 | 企業や農業者のホームページ作成やインターネットなどの支援 |
| 9 | その他（ ） |

5. 健康について

問18 あなたは、普段、以下のことがあてはまりますか。（それぞれ1つに○）

- | | | |
|---|------------------------------|---------|
| | あてはまる | あてはまらない |
| ① | 朝食を食べないことがある ----- 1 ----- | 1 |
| ② | 野菜をあまり食べない ----- 2 ----- | 2 |
| ③ | 糖分や油の多い食べ物をよくとる ---- 3 ----- | 3 |
| ④ | 運動不足である ----- 4 ----- | 4 |

6. 情報通信について

問19 あなたは町に関する情報を主に何から得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 町広報・議会だより	2 町のホームページ	3 新聞
4 役場で直接	5 議員から	6 職員から
7 自治会長から	8 友人・知人から	9 その他（ ）

問20・21 あなたは、普段、パソコンや携帯電話で、電子メールのやりとりやホームページの閲覧をしていますか。（それぞれ1つに○）

問20 パソコンで

問21 携帯電話で

- | | | | | |
|-------------------|-------|---|-------|---|
| ① ほぼ、毎日のように利用している | ---- | 1 | ----- | 1 |
| ② 週1回以上利用している | ----- | 2 | ----- | 2 |
| ③ 時々利用している | ----- | 3 | ----- | 3 |
| ④ 利用したことがない | ----- | 4 | ----- | 4 |

問22 あなたは町からどのような内容の情報がほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

1 町内のイベント情報	2 近隣市町のイベント情報
3 まちづくりの方針・計画	4 町の事業やまちづくりの進行状況
5 町の財政状況	6 各種行政サービスの情報
7 クラブ・サークル活動の情報	8 ボランティア活動の情報
9 議会の内容	10 その他（ ）

7. 地域活動について

問23・24 あなたは、以下の活動に参加していますか。また、今後、参加したい（あるいは、続けたい）でしょうか。現在参加している活動、今後参加したい活動のすべてに○を付けてください。

問23
現在、
参加して
います
か

問24
今後、
参加した
い・続け
たいです

① 自治会・町内会活動	1	1
② スポーツ・レクリエーション活動	2	2
③ 生涯学習活動（教養、芸術のサークルなど）	3	3
④ 歴史・文化に関わる活動（学習、保存活動など）	4	4
⑤ ボランティア活動	5	5

8. 少子化対策について

問25 あなたは、少子化が進むまんのう町において、若者の定住や結婚・子育てのためにどのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○）

- 1 若者の起業支援、既存企業の経営革新の支援、企業誘致などによる若者の雇用の拡大
- 2 Uターン（帰郷）や移住希望者に対する仕事や住宅などの情報提供
- 3 個性的なまちづくりと情報発信、郷土学習による町への誇り意識づくり
- 4 若者の交流・交際・結婚機会の拡大に向けたクラブ活動やイベントなどの支援
- 5 若者定住に向けたマンションや住宅地などの整備促進
- 6 若い世代の自治会活動などの負担の軽減や古いしきたりなどの改善
- 7 女性の雇用機会の充実と男女共同参画の充実
- 8 保育所や子育てサークル、子育てしやすい職場環境など子育て支援の充実
- 9 出産や子どもの医療費の助成制度などの充実
- 10 保育料などの減免措置と教育ローンなどの資金援助
- 11 学校教育や地域教育、高等教育などの充実
- 12 その他（ ）

9. 教育について

問26 子どもの教育について重要と考えることはどのようなことですか。（5つまで○）

- 1 家事や家業の手伝い、挨拶、早寝早起き朝ご飯などの家庭教育の充実
- 2 子どもの自信と自尊心、自立心を育む、ほめて伸ばし、力をつける教育の推進
- 3 屋外での集団遊びの充実によるコミュニケーション能力や体力の向上
- 4 保育所・幼稚園での幼児教育の充実
- 5 興味をかきたてる授業や読書活動など、学ぶ意欲や考える力を高める授業の実施
- 6 わかる授業や家庭学習習慣の確立による基礎学力の習得
- 7 町の自然や歴史、仕事、まちづくり、ボランティア活動などの体験教育の充実
- 8 生活習慣病予防に向けた食育やスポーツ習慣確立に向けた教育の充実
- 9 町に誇りを持ち、住み続けたいと思うようになる郷土学習の推進
- 10 いじめのない学校づくりや障害を持つ子どもたちへの支援、教育環境の整備
- 11 外国語学習や国際交流など国際的な視野を養う教育の推進
- 12 小学校の適正配置の検討（通学区の見直し、統廃合など）
- 13 児童生徒の登下校などの安全確保
- 14 小・中学校施設の整備や、教育設備の充実
- 15 教育費の支援（助成や貸付制度など）
- 16 その他（ ）

問27 あなたが、町の社会教育や社会体育に望むことは何ですか。（3つまで○）

- 1 若者の居場所づくりや交流・イベント
- 2 職業知識や能力を高める学習や地域産業振興のための学習・交流
- 3 パソコン操作やホームページづくりなどのスクール
- 4 趣味やスポーツのクラブ・サークル活動
- 5 郷土芸能や歴史・文化を学ぶためのクラブ・サークル活動
- 6 文化講演会や各種コンサートなどの充実
- 7 競技スポーツ大会などの支援
- 8 健康づくりの教室やウォーキングなどのクラブ・サークル活動
- 9 まちづくりの知識や技術を学ぶためのクラブ・サークル活動
- 10 図書館の整備と学校・公民館図書室の有効活用
- 11 クラブ・サークル活動のための施設の充実
- 12 スポーツ施設（グラウンドや体育館など）の整備充実
- 13 クラブ・サークル活動を推進する住民が中心となったNPO組織づくり
- 14 その他（ ）

10. 生活環境について

問28 あなたは、環境にやさしい生活のために次のことを実践していますか。（それぞれ1つに○）

項 目	いつも 行っている	だいたい 行っている (7～9割)	時々行っ ている (4～6割)	あまり行っ ていない (1～3割)	全く 行ってい ない
①ごみをきちんと分別する	1	2	3	4	5
②ポイ捨てをしない	1	2	3	4	5
③暖房は20度以下に設定している (冷房の場合は28度以上)	1	2	3	4	5
④風呂などの節水に心がけている	1	2	3	4	5

11. 防災について

問29 あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。（それぞれ1つに○）

項 目	いつも 行っている	行っている	あまり行っ ていない	全く 行っていない
①防災備品の準備（懐中電灯、消火器、救急箱、非常用持出し袋など）	1	2	3	4
②家具の転倒防止策	1	2	3	4
③被災時の家族との連絡方法の確認	1	2	3	4
④防災訓練への参加	1	2	3	4
⑤避難ルート、避難場所の確認	1	2	3	4

問30 防災対策について、行政では何をもっと充実すべきだと思いますか。（主なもの2つまでに○）

- 1 避難場所の整備や耐震化を急ぐべき
- 2 道路・橋の整備や耐震化を急ぐべき
- 3 河川、ため池等の災害発生危険個所の整備を急ぐべき
- 4 避難訓練、消火訓練を徹底すべき
- 5 災害時の情報連絡体制を充実すべき
- 6 飲料水、食料、毛布など非常用物資の備蓄を十分に行うべき
- 7 防災意識の啓発活動を積極的に行うべき
- 8 災害時の医療体制を充実すべき
- 9 家畜やペットの災害時の救済対策を整備すべき
- 10 現状のままでよい
- 11 その他（

12. 町政について

問31 あなたは、子どもや若者、女性、高齢者などの意見が町の政策に反映されていると思いますか。
(それぞれ1つに○)

質 問	十分反映 されている	ある程度 反映され ている	あまり反 映されて いない	全く反映 されてい ない	わからない
① 子どもの意見	1	2	3	4	5
② 若者の意見	1	2	3	4	5
③ 中年・熟年の意見	1	2	3	4	5
④ 高齢者の意見	1	2	3	4	5
⑤ 女性の意見	1	2	3	4	5

問32 町の財政状況について、どのようにお考えでしょうか。（1つに○）

- 1 よい 2 まあまあよい 3 普通
4 あまりよくない 5 悪い 6 わからない

問33 行政改革・財政改革のために、以下のどの項目が重要だとお考えでしょうか

(3つまで○)

- 1 効果の薄い事業などを見直し、事業の優先順位を厳選し、歳出を減らす
- 2 戦略的に重要な事業に人・もの・金を集中して取組み、行政効果をあげる
- 3 地域産業の育成、起業化、企業誘致などを進め、自主財源を増やす
- 4 若者の定住を促進し、自主財源を増やす
- 5 国・県などの補助事業を有効に活用する
- 6 業務委託など、民間活用を進める
- 7 わずらわしい手続きや細かな規制の廃止など、規制緩和を進める
- 8 情報化を進め、ムダを省き、事務などの合理化・効率化を進める
- 9 町の実情にあった、個性的な事業・行政運営を行う
- 10 職員のやる気を高める
- 11 職員の専門知識・技術を高める
- 12 職員定数や組織体制を見直し、歳出削減と効率化を図る
- 13 各課の横の連携を強め、効果的な事業を行う
- 14 ボランティア活動など、住民参加のまちづくりを進め、支出を減らす
- 15 近隣市町と連携を強化して、事業を行う
- 16 その他 ()

問34 最後に町政について、ご自由にご意見やご提案をご記入ください。(記載自由)

アンケートへのご協力、ありがとうございました。